

# 江 艾 渡





# 澁江

—第11号—  
目次

澁江第11号発刊にあたって……渡辺達好… 2  
 同窓会総会ご案内…………… 3  
 真理の探求と学問の自由を……玉置 保… 4  
 大阪経済大学学園だより…………… 4  
 同窓会本部だより…………… 5  
 名簿編集集ピッチ  
 同窓会支部だより…………… 6

—南九州支部が新発足—

東京支部・東海支部・京都支部・奈良支部・  
丹有支部・神戸支部・岡山支部・徳島支部・  
北九州支部・南九州支部・大阪市役所支部

## 学園の近況と学園にのぞむ

教職関係同窓生との懇談会から

…………… 12  
 大阪と博多と～同窓会は新幹線で… 荒牧博之  
 …………… 17

## ゼミ短信 …………… 18

稲原ゼミ・岩井ゼミ・倉辻ゼミ・園田ゼミ・  
平 ゼミ・竹林ゼミ・田中ゼミ・玉置ゼミ・  
玉井ゼミ・永野ゼミ・松原ゼミ・松村ゼミ・  
三ツ星ゼミ・濱本ゼミ

北から南から—

## 同窓生短信集 …… 21

大阪経済大学刊行物案内…………… 27

### 澁江第十一号発行にあたって

同窓会理事長 渡辺 達好

九月も半を過ぎたというのに、暑気は一向に去らない。恰も、今日この頃の経済不況の停滞と相似た現象である。けれども、気候の変化は多少のずれはあっても、或いは異変はあっても、四季それぞれの変化は必ず確然と順序よく巡ってくる。これは誠に有り難い自然現象である。社会現象としての経済現象もまた期間の大小はあっても、景気不景気の現象が周期的に現われてきて世界経済を維持し、各国の経済が維持存続されてきたのであるが、今や世界の経済環境は過去の例には見えないようなこととなつた状態にある。洋の東西を問わず、自由主義経済国も、社会主義国家群も又大なり小なりお互いの関連性をもつて、不況経済の波間に浮遊している感じである。終戦以来一昨年頃迄異常な迄に経済成長を遂げた日本経済も、又其の例外ではない。寧ろ高度経済成長を期して

て繁栄してきただけに今日の経済不況は恰も酷暑期の冷え込みにも似た状態に迄おちこんでいる。其の深刻さは低経済成長等という言葉では言い現せないものではないかとさえ感じられる。昨年来、日本熱学や坂本紡績等の大型倒産以来、今年の興人の倒産を筆頭に相次いで崩れ行く企業の多さは、他人ごとではないように思えるのである。連日の如く今日は何々会社、明日は某々会社と会社更生法の適用申請会社がふえている。誰いとなく、今日の大企業は必ずしも、昔からいい慣らされた、「寄らば大樹」の通論が悠々罷りとおるか、否か、最近の大会社の中で少なからざる人員の整理と事業の縮小を図つて此の危機をのり越えんとしている所もある。此の経済現象の冷え込みは、日本国政府にとつても、重大な影響があることは勿論で、従つて此の経済建て直しの景気浮揚策

として、凡ゆる対策を講じている様ではあるが、今の所一向に景気浮揚の徴候は現れず、政府主脳や、自民党主脳陣の苦悩もひとしおのようである。日本の国はもとく資源国でない故を以て其の資源の殆んど全部を外国の資源国から輸入を仰ぎ、此の資源材料を素材にして、日本人の例の勤勉さと、勝れた頭脳を以て種々の製品を作り世界各国との交易を広め遂には終戦を境にして文字通り経済大国となつたのだが、それが一昨年の石油ショック以来経済の異変をきたし、高度経済成長に伴う自然環境の大破壊が行われ、何時の間にかやら沈滞経済の中に日本もはいつてしまったのである。然も其の間最も悲しいことは、高度経済成長につれて、日本民族の人倫徳徳の低下が進行していることである。日常の色々の問題をとり上げて見ると、社会のために、或は人々のために奉仕しようとする精神の欠如が多く、全く道徳感に地におちている。今こそ此の経済不況の中ではあるが、純真な古来の日本人に立ち還つてとくと反省し、真に日本人の本心をよみ返えらせたものである。色々自分の職場



十一月三日(文化の日)は、同窓会総会の日であります。また、学校では、学生諸君の主催する文化祭(大樟祭)の中の一日でもある訳です。久しぶりに学園を訪れ、昔の学生生活にかえつて、恩師や旧友、そして学生諸君と楽しい一日を送るのも、まことに有意義なことと思ひます。

### 学生生活にかえつて

—恩師・旧友とともに—

学園も年々、発展をつづけ、見違えるばかりの偉容を誇っています。今年こそ、旧友お誘い合わせの上、是非ともご出席下さい。今年にはハガキのご案内はいたしません。澁江の誌上を借りて総会のご案内いたします。

同窓会総会の開会は十一時三十分。なお、十一

## 11月3日同窓会総会 於大阪経済大学キャンパス 11時30分から立食パーティー

—新卒者大歓迎、会費も半額です—



時から経大の誇る吹奏楽部の演奏が会場で行われます。会場はC館四一室です。恒例の式次第が行われますが、ここでは学園の近況や本部の動き、それに各支部長さんから日頃の活動状況などが報告されることになっていきます。

### ご馳走はいっぱい

—是非「出席下さい」—

総会のあとは、席を移して本館三階でのお待ちかねの懇親会、今年も昨年通り、神戸のレストラン・バーグからどっさりご馳走が届けられることになっていきます。存分に飲み、且つ食べ、心ゆくまで語りあつて下さい。

会 費 二 千 円  
但し新卒者は 千 円

(昭和五十年九月十六日記)





# 真理の探究と 学問の自由を

学長事務取扱  
**玉置 保**

二期に分れますが、十四年有年の長きにわたり、学長として本学の発展に尽すいされ、多大の成果をあげていただきました。福井孝治先生が、健康上の理由で辞任されましたので、はからずも、本年一月十六日付で、不肖私が当分の間学長事務取扱を命ぜられました。本学に就任しまして未だ六年、浅学非才、学問的にも、教育行政的にも不敏の私は、五里霧中、何の役にも立っていないので、忸怩たるものがございますが、後任の学長が選任されますまで、今暫く微力を尽すつもりでございますので、同窓会の諸先輩各位の格別の御指導御鞭撻を衷心よりお願い申し上げます。

御承知のように、本学は、真理の探究と、その実践に耐えうる人間の形成とを、究極の目標とする自由と融和の学園であることを理念としており、私も及ばずながら、このことを、ここ数年間に体得させていただきました。諸先輩が、築き上げられたこの伝統は、微力ながら、命を賭して守り続けていきたいと念願致しております。

真理の探究のためには、政治的・経済的・社会的諸権

威による干渉・抑圧を排除して、「学問の自由」を守り、そのとりでとして、「大学の自治」を死守せねばならないと存じております。実践に耐えうる人間形成については、教育と自治活動に負うところが多いのですが、教育に関しては、教育基本法の精神にのっとり、若い世代の人たちを社会に適應するように育てあげよう心がけ、自治活動・課外活動に関しては、大学の設備の拡充をはからなければなりませんから、現在計画中の図書館の増築・茨木グラウンドの整備を実現すべく努力致しております。

とはいえ、昨年来、わが国はスタグフレーションにみまわれ、政治・経済のひずみから生ずる波瀾の余波は、本学にもおしよせ、就職関係の悪化は予断を許しません。私達も万全を期して努力するつもりですが、諸先輩が後輩卒業生の就職のために、一臂の力をお貸し下さることを、誌上をお借りして、伏してお願ひ申し上げます。

激江十一号発刊に際し、御挨拶と以上お願ひを申し上げますとともに、諸先輩各位の御自愛・御健勝そして御活躍をお祈りする次第でございます。

## 大阪経済大学学園だより

### 新学長 事務に玉置教授

学園の役員改選にともなう、新役員も決ったし、また学長も福井先生の健康上にもなう退任で、新しく玉置先生の学長事務取扱が決った。図書館の増設、茨木グラウンドの整備等々、学園の動きもようやく活発化してきている。

会計検査院による会計監査

7月14日～9月10日

学生夏期休暇

9月22日

講義終了

9月23日～29日

前期試験

今後の予定

9月30日  
本学創立記念日(休み)

10月1日

後期講義開始

12月17日～1月7日

学生冬期休暇

昭和51年1月8日

講義再開

1月17日

50年度講義終了

1月19日～2月7日

後期試験

2月17日～18日

入学試験

3月19日

学部卒業式

50年9月現在

学長事務取扱

玉置 保 教授

経済学部長

上島 武 教授

経営学部長

浜本 泰 教授

教養部長

玉井孝弘 教授

大学院委員長

鈴木 亨 教授

学校法人大阪経済大学役員

(敬称略、○印同窓生)

理事長 藤田敬三

理事 浅田敏章

色川幸太郎

▽内海健一

▽菅野和太郎

▽里地三平

▽世良口隼

## 同窓会本部だより 名簿編集急ピッチ

同窓会本部にとって、今年の課題はなんといっても名簿の編集・発行につきる。同窓生の数も二万有余、その把握も並大抵ではない。現在最後の追込み中といったところが、申し込みのまだの方は、早急に事務局まで――

平による案内はないが、是非ご出席をいただいで、母校の発展ぶり、最近の学生生活にもじかに肌でふれてもらいたいと思う。

なお、今年から新卒者を大歓迎することに、会費も半額とした。

いま一つの、同窓会本部の今年の課題は名簿の発行にあるが、この方も現在最後の追込中、今年の暮か、或いは来年早々にはお手元にお届けすることが出来ると思う。お申し込みのまだの方は、是非早く。

(松本記)

### 昭和49年度・同窓会総会

昭和49年11月3日(祭) 於 母校キャンパス

十一月三日は「文化の日」であると同時に恒例の同窓会総会の日、学生諸君の主催する大禮祭とともに年に一回母校のキャンパスで昔に帰り、大いに楽しみ、飲みかつ食べる日として定着していった。

昭和四十九年度の同窓会総会も、雲一つない絶好の秋日和に恵まれ、多数の同窓生を集めて盛大に行なわれた。

定刻を少し遅れて、総会会場にあてられたC41号教室では、比企事務局長の開会宣言にはじまり、渡辺理事長の挨拶、福井学長、藤田理事長のご祝詞、さらには、祝電披露とつづいて、同窓会各支部長の近況報告が行われた。年々支部の数も増え現在二十四支部、その代表から例年支部の活動状況が報告されるわけだが、支部の数が増え、支部活動が活発化することは、まことによろこばしい限りである。その席で徳島支部長から、阿波踊りへのおさそいが、新しい経大のネーム入りゆかたとともに披露されたが、ヤンヤの喝采だった。

昭和五十年年度の一大事業であった名簿の編集も、年内完成を目ざして最後の追込みにかかっています。予約申し込みも三千を越えました。まだの方は――

## 名簿 早くお申し込み下さい

定価 四、〇〇〇円  
申し込み 大阪経済大学同窓会本部  
大阪市東淀川区大隅通り二  
電話(三二八)二四三二番

### 学 生 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	計
第1 経済	749	816	735	1,051	3,351
第1 経営	845	892	864	951	3,552
第2 経済	143	159	247	311	860
第2 経営	228	196	185	220	829
計	1,965	2,063	2,031	2,533	8,592

次○▽田岡嘉寿彦 ▽高室一彦  
▽田坂茂忠 ▽玉置 保 ▽福井孝治 ▽森井庄内 ▽森 薫 ▽山本晴義 ▽渡辺達好○  
監事 ▽甘糟勇雄 ▽磯野 斉○  
評議員 ▽浅沼玄恵 ▽泉谷勝美  
▽入江 正 ▽色川好太郎 ▽内田三良 ▽内海健一 ▽大槻 弘  
▽奥村日出男 ▽陰下嘉典○ ▽川勝 伝 ▽菅野和太郎 ▽栗本順三 ▽黒正 光 ▽佐治敏三  
▽里地三平 ▽進藤 馨 ▽鈴木権平氏○ ▽鈴木 亨 ▽世良隼次○ ▽高室一彦 ▽玉岡 浩○  
▽西池成輝 ▽萩原市郎○ ▽橋本伝左衛門 ▽比企 重○ ▽広田実○ ▽藤田敬三 ▽松原四郎  
▽松本義和○ ▽森下 泰 ▽山中良夫○ ▽山本晴義 ▽渡辺達好○ ▽上島 武 ▽浜本 泰 ▽玉井孝弘



昭和49年度収支決算書

自昭和49年4月1日～至昭和50年3月31日

Table with columns for Income (前会費, 名簿収入, 利息収入, 総会収入) and Expenses (総会費, 役員会費, 支部費, 事務費, 編集費, 名簿編集費, 学対費, 慶弔費, 予備費, 繰越). Total income: 9,344,617; Total expense: 9,376,403.

昭和50年度収支予算表

自昭和50年4月1日～至昭和51年3月31日

Table with columns for Income (前会費, 名簿収入, 利息収入, 総会収入) and Expenses (総会費, 役員会費, 支部費, 事務費, 編集費, 名簿編集費, 学対費, 慶弔費, 予備費). Total income: 16,815,288; Total expense: 16,815,288.

同窓会支部だより

南九州支部が新発足

南九州支部の発足で、支部の数は二十四。東京以西は、至るところに支部ありの感がある。支部総会も各地で開かれ、ますます発展の度合を深めていることは、まことに同慶のいたり、連絡等については別掲の支部役員のところへ

東京支部

昨年関西学生サッカーリーグ戦で

母校が優勝し、大学選手権の出場資格を得て上京するというので、日頃からサッカーを愛好しておられる諸先輩から、激励のお電話やら、学生

母校が優勝し、大学選手権の出場資格を得て上京するというので、日頃からサッカーを愛好しておられる諸先輩から、激励のお電話やら、学生

母校が優勝し、大学選手権の出場資格を得て上京するというので、日頃からサッカーを愛好しておられる諸先輩から、激励のお電話やら、学生

母校が優勝し、大学選手権の出場資格を得て上京するというので、日頃からサッカーを愛好しておられる諸先輩から、激励のお電話やら、学生

母校が優勝し、大学選手権の出場資格を得て上京するというので、日頃からサッカーを愛好しておられる諸先輩から、激励のお電話やら、学生

奈良支部

全国の同窓生諸兄お元気ですか。吾々奈良県居住の同窓生にとって何よりも待望久しかった支部が今般結成され、いよいよ発足しましたので、どうか宜敷しくお願い申し上げます。

また、支部同窓会の運営につきましても、運営委員を卒業年次層毎に一名づつ位の方にお集りいただき、みなさんが集り易い方法で、ご討議願えれば如何なものかと、支部長ともご相談いたしましたところ、ご承諾を得まして、近々その準備会を開く予定に致しております。

(東京支部・西山 昭吾)

追記(東京支部長より)——今年度支部の総会は、従来と趣向をかえたものにしたかと考えておりましたが、十六回卒の西山君が、このようにご熱心にアイデアを提供してくれ、同窓会の発展にご尽力いただいております。紙面を借りてお礼を申し上げると共に、何とか諸兄のご期待に添えるような支部総会の開催を、案を練っております。

(服部)

東海支部

中部経済圏の核、草野球もできる

学校の性格上、金融関係で活躍する人も多いが、その横綱格の一人に地元東海銀行車道支店長の青山貞二君(十一回生)がいる。支店長歴十一年という大ベテランで、ここへ赴

学校の性格上、金融関係で活躍する人も多いが、その横綱格の一人に地元東海銀行車道支店長の青山貞二君(十一回生)がいる。支店長歴十一年という大ベテランで、ここへ赴

学校の性格上、金融関係で活躍する人も多いが、その横綱格の一人に地元東海銀行車道支店長の青山貞二君(十一回生)がいる。支店長歴十一年という大ベテランで、ここへ赴

京都支部

昭和四十九年度の支部総会は、十一月十六日(土)午後五時半より、京都市岡崎の洛陽荘において開催致しました。出席者は二十七名であり

昭和四十九年度の支部総会は、十一月十六日(土)午後五時半より、京都市岡崎の洛陽荘において開催致しました。出席者は二十七名であり



す。ただただ残念なのは設立の功勞者川島支部長の顔がみえないことでもあります。それはこのめでたい発会式を目前に控えて病に倒れ、急遽大阪市大病院に入院されたためであります。一番この日を楽しみにしていた支部長の温顔が思わず目に浮んでまいります。さて、参集の役員はそれぞれの部署につき開会の準備に余念がありません。ところが気の早い会員の連中がもう早々に駆付けて来ました。どうしても朝から落付かないので早い目に出て来てしまったとのこと。何か手伝わせるといながらも、もう何くれと準備を手伝ってくれる。じっとしていられない気持は役員ばかりではないのです。みんなの気持が一緒なのです。十一時、会員がどんどん参集して来ました。早い連中はもうあちらこちらで自己紹介、名刺交換を始めています。もう話に花の咲いているグループもありまして。そうして会員揃ってはお互い話に花の咲いてはいます。奈良支部が出来てはほんとうによかった、今後はこれを足がかりとしてお互いの交際の場を拡げてゆこうと。

やがて母校より藤原教授、同窓生で母校に勤務している浜本教授がみえられ、同窓会本部よりは渡辺理事長と比企事務局長が出席され、会のムードの盛り上がりは最高調となつて参りました。支部役員、同窓会本部役員、来賓の挨拶、次いで楽しい会食と次々と行事のスケジュールは進んで行きます。それに支部会員の活発な発言もあり、まことに和気あいあいの中にも支部発展を推進せんとする積極的な熱意に溢れた雰囲気でありました。やがて文化会館の玄関ポーチでの記念撮影、久し振りに恩師を囲んで一同ニコニコ顔です。

**丹有支部**

考えますと出席の支部会員五十名にとつてこんな有意義で楽しい一日は、またとありませんでした。今日は多くの会員と友人関係を作られたし、本部役員よりは同窓会の各地の様子も聞くことが出来たし、母校の教授とも久し振りにゆつくり話が出来て、まるで母校に帰った気分、未だに学していた頃の自分に戻った気持になりました。

仲々名残りがつきませんが一同再会を約して、母校と支部の発展を祈って万才三唱、割れるような拍手で解散が宣言されました。時に四時半各自今日一日の楽しい思い出を胸にしながら奈良の街に散ってゆきました。(S・K・生)

川島支部長は現在すっかり健康を回復されお元氣になりましたことを報告しておきます。(平尾義之助)

大阪から福知山線に乗るか、中国縦貫自動車道を通り、国道一七六号線を北に向つて車を走らせると、宝塚を過ぎて間もなく武庫川の溪谷に出ます。それまでのそうぞうしとは一変した静けさの中に、車窓にふれんばかりの若葉は、むせかえるような香りをただよわせ、夏も近く、山あいにはうねりを続ける樹海の緑が、目にしみるほどであります。梅雨空に水かさが増した溪流と調和して、老松を背負ったさまざまな奇岩や、そそり立った山はだが、霧雨に煙っているさまは、一幅の山水画を思わせます。

しばらく、時のたつのも忘れるうちに、二十〇三分行くと、内陸工

業団地やベッドタウンとしての開発など、阪神間諸都市の外縁地帯として発展を約束されている三田市があります。このあたりを昔は有馬の園といったのです。

そよ風とともに、おいしい空気を胸一杯にすいながら行くと、くつきりと、計画的に植えられた山林や、整然と並ぶ田畑の向こうには白壁の土蔵のある農家も点在します。こうして、近郊農業地帯を進むうちに、丹波、杜氏、デカンショ節、立杭焼などで有名な青山六万石の城下町、篠山町があります。

さらに、いまや兵庫県北東部の文化、経済の中心地となった柏原町に至ります。このあたりを昔は丹波の国といいました。そして、丹波、有馬を合わせて、今も丹有地方といわれています。

それで、われわれの支部は、「丹有」と名付けられたのです。

この地域に六つの高校があります。それらの卒業生で大阪経大に学んだ者と、当地在住者により、卒業生会員と学生会員とが一体となって組織しているユニークな支部であります。

本年度は、本部の名簿作成とあいまって、会員を整理し、確認する予定ですが、現在卒業生会員は約三百五十名、学生会員は約百二十名です。

当支部では、毎年秋に総会を開催し、学生会員たちも協力しながら、有意義な行事を実施してまいりました。今年は、去る四月二日に、支部の会員で高校に勤務している者が十四名いますが、その中十名が集って懇談会を開き、建学以来の全学融和、自主と協力の精神により、大阪経済大学の同志として、連携を密に

**同窓会支部役員**

東京支部	支部長	友一
東海		加藤 正秋
滋賀		野田 那弘
京都		木下 隆徳
丹有		梶村 文弥
神戸		田中 義一
和歌山		松本 旬弘
岡山		大森 喜太志
広島		佐々木 一義
山口		串田 一
高松		矢野 保郎
徳島		谷 俊一郎
高知		横田 憲介
九州		荒牧 博之
石川		石地与四太郎
福井		内田 甫
富山		重松 尚
三重		水上 敏夫
西宮		増田 憲治
大阪市役所支部		砂山 保
岐阜		丹羽 好輝
奈良		川島 正作
南九州		宮田 順一郎

するとともに、母校の発展を図ろうと話し合いました。また、七月六日には拡大役員会を開き、支部の振興策と総会の計画などについて、熱心に協議しました。その結果、総会は十月二十六日に開催の予定になりました。なんとか、一名でも多く参加し、盛り上りのある会にしたいものです。

ところで、近年多様化した近代社会の中で、心のふる里として自然を見なおし、自然を愛しなつかしむことにより、人間としての潤いを取りもどそうということがいわれています。

丹有地方は、京阪神からわずか一時間余りの近距離にあります。まだまだ昔の姿のままの落ち着きと、静かで美しい四季それぞれの風景は、人の心をとらえてはなさぬも

のがあるためか、訪れる人々が次第に増えてきました。

とくに、篠山町の古い妻入商家や、武家屋敷の町並み、苔むす巨大な石垣を中心に、青葉と水につつまれた城跡のみやびやかな雰囲気は、まさに心のこいの場であります。お誘い合わせの上、ぜひとも一度お越しください。

皆様のご健勝とご多幸を、そして、母校のますます発展することを祈りいたします。

(丹有支部長 梶村文弥記)

**神戸支部**

昭和五十年五月二十三日、世話人会を開き、本年度支部総会をつぎの通り開催することを決めました。

日時 昭和五十年七月十一日

午後 六時  
場所 神戸貿易センタービル二四階「バーグ」

その他に目新しいニュースがありませんので先日神戸で行われた同窓生の会合の一つをとりあげお知らせいたします。

六月四日薫風のもと、神戸市北区にある兵庫カントリークラブにおいて瑞光会(大経大サッカー部OBゴルフ愛好者で編成)の第九回ゴルフコンペが行われました。京阪神在任者に加え高知より二名、徳島より一名参加、年次的には五回卒より三十九回卒迄老若とりまぜて、八時三十分スタート、三〇〇ヤード級のドライバースhotsの応酬あり「佐野杯」をめざして熱戦が展開されました。結果は練習熱心でアブラの乗った年代、二十六回卒の山田圭三君

**岡山支部**

が、ネット十一アンダー(二十七ホールズ)で初優勝を飾りました。成績発表の後、初対面者の自己紹介、現役サッカー部の戦跡や今後のスケジュールの披露等あり、なごやかに懇談の後、午後六時頃散会しました。

(五十・六・十一 田中義一記)

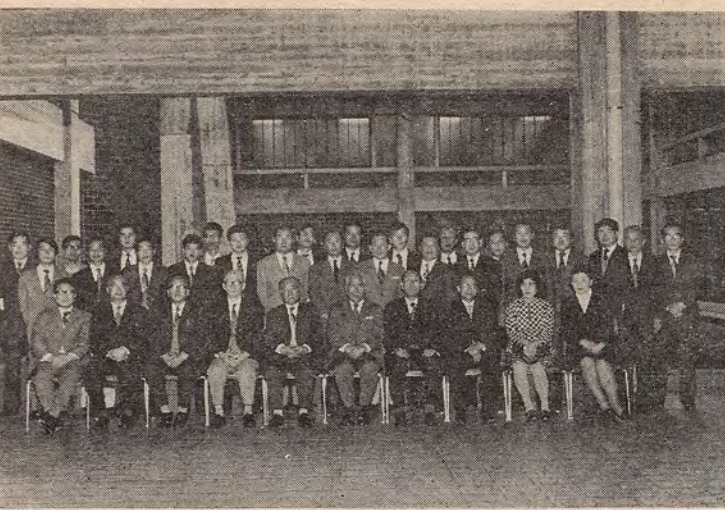
同窓の皆様お元氣でお過ごしですか。岡山という地名も新幹線が開通し、また今年は博多迄延長開通に伴い有名になってまいりました。人々の移動の量も急に激しさを増して来て京阪神との距離も短縮されたような気がします。岡山支部の同窓諸兄も私の知る限りではそれぞれの分野で元氣に活躍しておられます。

ただ、この度の支部総会の通知で五回卒の出原昭先輩が他界された由で遺族よりご通知があり誠に残念です。心からご冥福をお祈りします。

さて岡山支部の総会は、昨年は私事の原因で開催出来ず、在県同窓諸兄に誠に申し訳なく心から詫言申し上げます。

去る五月十一日、昭和五十年年度岡山支部総会を岡山市岩田町「ほそだスキヤキハウス」にて開催しました。学校からは浅沼支應先生、本部から比企事務局長のご出席を賜り盛会裏に終了したことを感謝しております。定刻午前十一時すでに大半の人々が集まり正午まで浅沼先生、比企事務局長から母校の現況、同窓会の活動等のお話に全員耳を傾け、母校のいまさらながらの偉大なる発展に驚きかつ往時のそれぞれの思い出に懐きさを感じました。

正午より宴会場に席を移しスキヤ



上・奈良支部総会  
下・広島支部総会

**支部総会から**





上・徳島支部総会  
下・九州支部総会

### 九州支部

九州支部は、ことしも、経大の出張入試が、福岡市で行われたのを機会に、総会を開いた。福岡市の試験場は水城学園という予備校で、二月十六日と十七日の二日間。経大からは松井春満助教(現在は奈良女子大に転職)ほか総勢三名のスタッフが来福。というわけで、試験場のお手伝いをしたけれども、ことしの福岡市での受験生は三四〇名、去年は二四二名だったので、九八名ふえたことになる。いずれにしても、ふえるというよりは、いいことにちがいないが、大阪の本学でも三、五二四名去年よりふえているのだそうだから、まことに同慶のいたりということになる。……ところで支部総会だが、出張入試が終了した二月十七日に、たそがれ六時から博多歓楽街の酒亭に、お集りいただいた。同窓会本部から渡辺理事長のご出席をえて、出張入試の職員の方々もお招きし、懐旧の情あふれる宴を開いたが、会費二千五百円は安すぎるというわけで、みなさんから寄付をいただいたが、この紙面を借りてお礼を申しあげる次第。

さて、つきのご報告だけでもこの五月に南九州支部が新たに誕生した。これは九州支部といっても、かなりエリアが広く、支部総会を開いても、どうしても福岡を中心に北九州方面にかたよってしまう。というわけで、本部にエリアの分割をお願いしていたのが実現したというわけ。五月五日、鹿児島市で発会式があったので小生も出席。鹿児島市の銘酒・ショウチュエウをいただいて、いささかメイテイした次第。鹿児島支

### 大阪市役所支部

当支部も、発足以来二十六年の歴史を持ち、会員も年々増え、現在八十数名に達しており、会員相互の親睦を図り、日常の勤務に役立てるべく年一、二回の総会を開催しています。

また、昭和四十五年六月以来、第三代会長として、当支部のためご尽力をいただきました村上静夫氏(第五回卒)が、去る六月、大阪市の人事異動によりご勇退され、われわれ会員としても惜別の情に堪えないところではありますが、今後、当支部の特別会員としてご指導を賜わることになり、第四代会長を選出するため、去る七月十八日臨時総会を開催。砂山 保氏(第七回卒)を支部長に選出、新しい態勢をもって支部運営を図って行くことになりました。

当支部も、若手会員が増え、親交の度合を何とか密にするため、八月二十五日に支部第一回ゴルフコンペを武庫の台ゴルフコースで開催する計画を立てています。

今後、この種の催しを計画し、機会あるごとに会員相互の親睦を図り、支部の発展を期して行きたいと考えています。ご支援の程よろしくお願いたします。

(幹事 藤川保浩)

得て盛大であった。総会の席上、比企先輩から同窓会名簿発行について行方不明者発見について協力要請があり、また玉岡先輩からは学園の近況について説明があり、先輩後輩の間に話はずみなどやかに総会を終了した。支部長からは阿波踊り実行について協力要請があり全員協力する旨了解をえた。なお、昨年十一月三日の同窓会総会、本年の理事会席上での阿波踊り実施の結果、八月十六日(土)阿波踊り実施には県外より九名の参加申込みを受け、諸準備万般完了、当日を待つのみとなったが、台風5号接近のためフェリーが欠航、ついに阿波踊り中止の止むなきに至り他日を期すことになった。(徳島支部長 谷 俊一郎)

### 徳島支部

徳島支部は七月十九日(土)富田町料亭浜伊で大学より浜本教授(ゼミの都合で欠席)同窓会本部から比企重、玉岡浩先輩をお迎えして総会を開き、多数の同窓会諸兄の参加を

彰、尾野高仁▽三四回 淵野純二、山崎浩三▽三五回 塩尻康勝、古市雅浩、持田稔了、渡辺 肇 (追記)

現在岡山支部同窓生約四五〇名ですが、住所、勤務先変更で返送されるものが多数あります。また三八回以後の同窓生の把握が出来ていませんので是非岡山支部宛ご通知下さい

大森 喜太志

部の発展を願うや切。以上のような

六月十四日夕刻、淡路島南端の福良に於いてプロパンガスのタンクの開放検査の途中で、同窓生の森本寿夫氏(十六回卒)が酸欠のために倒れ、急を聞いて兄を救出しようとしたが身の危険も振り返らずタンク内に入った弟、良生氏(二十四回卒)共々酸素欠乏により不帰の人となられました。

ご兄弟でモダン設備備という名の会社を作られ多数の職人と下請け業者を使って高圧ガスのタンク検査や配管などの工事で東北地方から沖縄まで広範囲に亘って仕事をしておられました。兄寿夫氏は戦後復活した母校サッカ一部を盛り立て、入学当初よりレギュラーとして活躍し、卒業されて長い間、監督として学生や後輩の指導に当られ、伝統ある母校サッカー部の基礎作りにおおに貢献されました。

監督の席を後輩にゆずられてからも、OBで組織されている大経大サッカークラブの副会長として二百十余名の中心となり、後輩指導はもとより、学生のアルバイト、就職問題、またクラブ員の結婚話や住宅関係、その他数々の問題で親身になってみんなのお世話を下さっていました。また学園紛争の際には学校や同窓会からの要請で入試の監督に当られ、それ以後毎年入試試験の日には受験生を力づけるためご多忙の中を学校まで出向いておられました。

### 森本ご兄弟を偲ぶ

最近ではクラブ員の数も年々増え年令差がだんだんと開いておられます。大きなボールを蹴ったり追っかけたりするだけでなく、小さなボールで大きな和を、と森本氏が提唱されたクラブを中心としたゴルフの会を結成し、母校ゆかりの地名から名を瑞光クラブとし会員数も七十余名でこの五月に発足したところです。これなども森本氏の努力の賜物です。人間関係を非常に大切にされ、いつ

わけて、南九州支部のエリアは、鹿

でも他の意見に耳をかたむけ、どのような集まりでもスムーズにこなすことがはかれるように尽力しておられました。弟良生氏もサッカー部の一員として活躍され、昭和三十一年の優勝の際には大いに貢献されました。特に出身校の神戸葎合高校では、自分で在学中にサッカー部を作り、数々の有望な選手を育て経大を受験するよう指導し、経大サッカー部繁栄の一助となっておられました。

またスキーやスケートは団体級の腕前で、誰にでも気安く親切に指導され、その中から団体に出場した選手もおります。いつもひかえ目で、卒業後、兄寿夫氏とともにモダン設備備を作られ、社長の兄を助け兄の動き良いようにもくもくと仕事にはげみ、また寿夫氏も弟思いの仲の良いご兄弟でした。

十六回卒 森本 寿夫氏  
二十四回卒 森本 良生氏

この森本ご兄弟にはクラブ員先輩後輩はもとより他の同窓生、学生でも何らかの形で色々とお世話になった方々が多数おられることと思えます。特に年令差によってややもすると出来勝ちな断層を、お二人が上手にパイプ役になり意志の疎通をはかり万事情やかにおさめたことなども度々ありました。

『大モル。小モル』と皆から親しまれ、『モルさん、モルさん』とあてにされ、頼りにされておりました。このお二人が同時に亡くなられたことは我が大経大サッカークラブ及び瑞光クラブにとっても、同窓会の神戸支部にとっても大きな打撃であります。この紙上をお借りして同窓生の皆様方にご報告申し上げますことにご兄弟の功績を称え、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

大経大サッカークラブ  
石崎 博司 二四回卒  
昭和五十年六月二十日

### 南九州支部

児島・宮崎・熊本・沖縄の四県となるが、福岡・大分・佐賀・長崎は、北九州支部となる。未加入の方は、ぜひ

荒牧までご連絡ください。(北九州支部長・荒牧博之)

経大同窓生の皆様には毎日ご健勝のこととお慶び申し上げます。私達九州支部内の鹿児島・宮崎・熊本・沖縄の四県の同窓生は、五月五日、緑のしみわたる南国鹿児島島の城山において、大阪経済大学二十四番目の同窓会支部として南九州支部の発足を見る事が出来ました。思えば発案より長い時間を要し難産でしたが、曲りなりにも一支部として参加出来ましたのは、一重に大学当局をはじめ、同窓会事務局、そして南九州の各地でご活躍の同窓生諸氏諸兄の絶大なるご支援の賜物と、発起人一同大変感謝致しております。

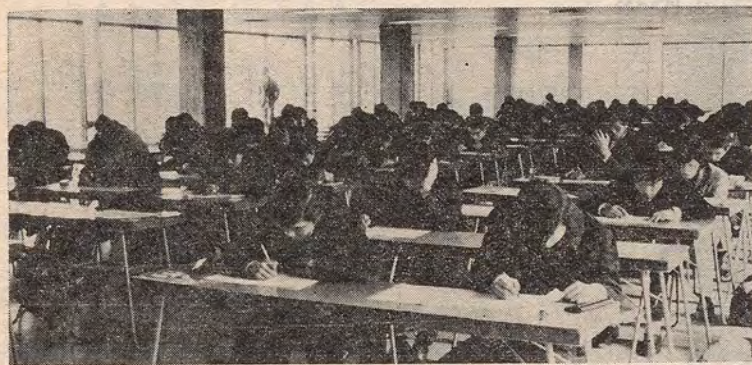
また、当日は、大槻教授、渡辺理事長、比企事務局長、と九州支部長の荒牧様のご来席を得ました。大変遠い所からご多忙の中をご来鹿いただき誠に有難うございました。

皆様のお蔭をもちまして盛大に発会式を挙行出来支部員一同心から感謝致しております。私ども南九州支部は、大学の発展のため微力ながら地方試験やPRにご協力申すべく決意しております。同窓生の皆様には当地ご訪問のさい、いろいろご案内をさせていただきますので是非お申し付け下さい。全国に散在する南九州出身の同窓生の皆様も是非名簿の中にでもご参加下さい。毎年一回の大会にご参加下さい。心からお待ちしております。



# 学園の近況と学園にのぞむ

## ＝ 教職関係同窓生との懇談会から ＝



入学試験場

同窓生の母校へ寄せる最大の関心は、経大が果して世間でのように評価され、どのようにランク付けされているかというところだろう。これを適格に判断出来るのは、日頃高校の教壇で直接教鞭をとっている先生方。またこの先生方には母校に対する要望や、入試等についてのご意見もあるだろう。この教職関係者に集ってもらってご意見を拝聴しようというのが、この大学の企画。それをそのまま紙面へ転載させていただいた。

とき 昭和四十九年十二月七日  
 ところ 本学三階会議室  
 出席者 大学側 理事長他一六名  
 同窓会 世良常任理事  
 教職関係同窓生 六二名  
 大阪経済大学広報部 編集

広報部長 ただいまから懇談会を開かせて頂きます。卒業生の皆様には、年末、学期末を控え非常にご多用のことと思いますが、まげてご出席頂き誠にありがとうございます。こうした機会に皆様方の隔意のないご意見、ご希望なりを沢山お聞かせ頂きまして、本学の今後の構想なり指針に致したいと存じます。何分よろしくお願い致します。

### 学部増設も

理事長 本日は、寒気の相当きびしくなつた昨今でございますのに、各方面からお集まり願ひまして、皆様の母校愛のお気持本當にうれしく存じます。

日本の経済も政治もみな大変な状況にありますが、この学園も学園紛争の後遺症と最近の狂乱インフレの状況のもとでは、前回理事長をつとめた当時と比べ、大学運営は非常に困難で、積極的な事業をするということはかなり難しい事態になっております。

ってゆけないでしょう。他に見られるように世襲により運営されている大学もありますが、本学は黒正先生を中心とした友情で支えられ今日にきた訳です。いかんせん首脳陣が高齢の現状なので、同窓会がいろいろご支援しなければならぬ時代になってきたと思ひます。皆様のご協力をお願い致します。

今日の会合で外から見られた本学をよくご説明頂きまして、参考になるご意見を承わりたく存じます。また、あわせて同窓会へのご要望があればお申しつけ頂きたい。

教務部長(代) 本日、鈴木教務部長が欠席のため、変更して私のわかる範囲で抽象的になるかと思ひますが、お話し申しあげます。大学にとつての重要な関心事であります入学志願者数は全体的には漸増から横ばいになっており、本学ではこの一兩年若干漸減の傾向を示しています。が、大体において本学への社会的評価は安定しているものと考えられます。

本日出席者の方は、もちろん大学の質的發展は強く望まれながら、高校に奉職されている立場からは、できるだけ沢山合格させたいジレンマがあると思ひます。しかし、学内の者からみますと大学内の教職面がこれでいいとは決して申しあげられません。

例えば、現在の経済、経営の両学部体制でいかだどうかも含めまして絶えず大学改革について論議されています。特に教養課程のあり方が全国的にクローズ・アップされており、なかなか着手できず現在に至っております。他方産業社会や学問の世界の変化に教職面、システム

もちろん、ある種の推せん入学制度とか、多少形をくずすような経営の仕方をすれば、財政難も解消するでしょうが、筋を通して大学らしい良心的な形を維持しながら財政をきりまわすというのは大変なことです。四九年度から授業料をあげちゃつと一息ついていますが、世間で考えるほど楽になる訳でもなく、思うようにいきません。しかし、先生方も職員も諸君も協力し、一層充実した学園の運営をしようとして、それぞれの立場で頑張っているところです。そういう事情で大学の発展が今後どうなるかということについてはつきりしたことは申せませんが、当面の問題としましては図書館の増築、茨木グラウンドの整備を来年度完了したいし、教員をできるだけ増し、学生数と教員数との均衡を質的に高めたと思ひついています。

いろいろな事情で着々とはいきませんが、次第に理想に近づける努力をしております。その他、例えば学部増設の希望が内外ともありますが、学校の財政状態にも少し余裕ができれば今の二学部ではいろいろな不利な点もある。で、本学の経営を長い目で見れば早い機会に今一度考えてみたいと思ひます。例えば法学部、社会学部など一学部ぐらいいはそう困難ではないと思ひ、そういう火を絶やさないようにするという気持は大切だと考えております。また、その節は皆様方にもいろいろご支援をお願いいたします。

学長、事務局長がカゼのため、詳しいお話を申し上げることができませんが、何かご意見を頂くとか、お教え下さることがございましたら承わらせて頂きます。

就職は非常に困難です。この面でお力添えを頂きたいと思ひます。

就職部長 就職状況について簡単に申し上げます。最近の大きな特色はいくつあるかと思ひます。一つは青田買いの自粛です。四回生が就職の問題で落着いて勉強できないということをなくすための協定で、五十年度は六月一日から会社訪問・説明会、七月一日以降内定ということになりそうです。

二つ目は地方出身の学生が郷里での就職を希望するものが増えていることです。会社側も地方に工場を建てたりして合せているようですが就職部でも希望にそえるよう努力しております。

三つ目は最近の社会情勢から求人を手控える傾向があります。しかし、本学では十一月二十日現在判明分で九十%以上が就職決定しております。

また、就職差別に対する問題も充分配慮しております。就職先主要会社は(データ・アンド・ガイド8頁)ご覧のとおりです。

### 最近の学生運動

学生部長(代) 学内状況について、本来なら学生部長がご説明すべきところですが、本日やむを得ない事情のため出席できませんので代って概略をお話しさせて頂きます。日常、現場の仕事を中心に行っているため多少は見方がかたよる点があるかと思ひますがご了承下さい。

学生部の職務は大きく分けて学生と大学のパイプ役と、学生への厚生援助となっております。我々としては学生生活の厚生面、例えばサッカー

経済学部長 本学はずいぶん古い歴史を持っており、経済系単科大学として長く世にその成果を問うてきた訳です。関連する学部の増設も考えておりますが、今のところは本学の特徴を失わないように充実する方が先のように考えられます。そのためには、人の面の充実、特に優秀な若手の人を招いて大学の方で育てていきたいと思ひます。

教育の面でもゼミナールには特に力を注いでいます。この面では他の大学に比べずれていると思ひますし、総合大学に比べて綿密な配慮もなされていきます。

もう一つは就職も念入りな世話をできるようになっています。体育館長 体育館の事務の面に長く接しておりますので、現実すぎて大学の理念に遠のくかもしれません。最近の志願者漸減の徴候をみて、その原因はどこにあるのかということを事務的な面から考えております。

本学への一般社会の評価以外に現場の先生がどういう点に中心をおいて指導されているのか、卒直な評価、ご意見をお聞かせ頂きたいと思ひます。

同窓会 この会合に御協力したいと申し出ておりましたが、一昨年に続いて今回おこなわれることになりました。同窓会では年一回「激江」をさしあげて同窓生の動向をお知らせすること、同窓会名簿を発行することの二つの仕事にとり組んでおります。

昨年の暮からの経済界の状況悪化で大学も財政的に苦しくなっております。国庫助成もあるでしょうが、なかなか待っておつては経営もうまくいきませんので、この際、相当思いきった経営態度がなければ乗り切



### 51年度入試要項

#### 1. 募集学部・学科

学部	学科	入学定員
第1経済学部〔1部(昼)〕	経済学科	400名
第1経営学部〔1部(昼)〕	経営学科	400名
第2経済学部〔2部(夜)〕	経済学科	100名
第2経営学部〔2部(夜)〕	経営学科	100名

#### 2. 試験日・科目・時間・配点及試験地

試験日	教科	科目	時間	配点	試験地
経済学部 (1・2部) 2月17日 (火)	外国語	英語 B	9:30 ~ 10:40 (70分)	150点	大阪 姫路 高松 広島 福岡
	国語	・現代国語 ・古典乙 (漢文を 含む)	11:20 ~ 12:30 (70分)	150点	
経営学部 (1・2部) 2月18日 (水)	選択 科目 (1科目)	「政治・経済」、 日本史、世界史、 地理A、地理B に簿記を加えた 6科目	13:50 ~ 15:00 (70分)	150点 計450点	金沢 名古屋 鹿児島

#### 3. その他

- ① 検定料 10,000円
- ② 11月発行の入学案内書は、〒共 600円。
- ③ 旧教育課程卒業者に対する措置 (改訂)  
旧教育課程による高校卒業者に対しては不利にならない措置をとりその措置として新・旧両課程の共通分野から出題する予定

全関西優勝とか、全国学生経営経済研究会の活動とか、音楽関係の地方公演などについて自慢をしたいわけですが、ここでは特に新聞等でご心配頂いているであろう学生運動についてお話ししたいと思います。

経大の学生自治会はI・II部共新左翼の革マル派といわれる学生が占めております。昨秋以来の学生運動の経過について日を追って説明しますと――

四十八・十一・十五 学費値上げについてI・II部の学生代表を呼び四十九年度学費値上げを発表。それまで結論(上げるか否か)不明のまま大学を追求していた自治会は、直ちに活発な運動を展開しました。十二月、理事会主催、学内理事による値上げ説明会を直接全学生を相手にした形で開きました。学生側はこれを大衆団交一つるしあげの場として反対運動を盛りあげ、何人かの理事はドクター・ストップ等で中途退場

を受け、合格すれば実習してやろうという状況ですので、これからも受入れについて何分宜しくお願い致します。

ところで前の話のとおり採用試験に一割しか合格できない理由には商業科の普通科への転向など商業科は減少の傾向にありますし、定時制の生徒減少のための採用減、また、昼間の商業科では新陳代謝が悪くなっていますし、退職者があっても定時制の先生でうめあわせるとい状況です。それから社会科でも本学の政経希望者の多い状況に反し採用率は大阪府で四十倍という激しいもので合格することは不可能に近いし、中学校の社会にはほぼ合格しているが競争は激しいものです。また、どうしても小学校教員希望者もあるが、卒業後免許取得のため通信教育を受けているものがかなりあります。まあ、できるだけ希望に添えるよう指導し、努力しております。本年は先輩のご努力により私立や公立に就職した者は五名あり、そのご好意に対し感謝しております。

**後援会** 後援会は学生の父兄と就職教員で組織されています。目的は父兄と大学、父兄相互の親睦をはかる一方、大学の運営に必要な事業の援助等を行なっています。本学では学生の教育施設・就職・課外活動等の補助・教職員の教育研究の一部補助を主としています。

役員は父兄約六十名と就職教員で役員会を組織しています。

他大学では、例えば学内広報を発行・配布し、学内事業を知って頂くといった事業等を行っているところもありますが、本学ではまだすべきことは多くありますが、資金等の面で充分できていません。後ほどまた

し、値上げの説明に對しきさがる学生達ともみ合いながら終了、ひきあげました。

年末、年始休暇で一時平静に戻ったあと再び学生は団交を要求し、理事会は種々の折衝のうえ、第二回目の説明会を行ない、前回同様混乱の中から、かろうじてひきあげました。

値上げ反対の実力行使は、一月中旬からの試験をバリエード封鎖により実施できなくし、大学側はやむなく計画変更の後、大部分の科目の試験をレポートに変更、レポートでない科目のみを圧縮した日程で強行し、就職を目前にした学生達と学生内部の批判ムードとあいまって、かろうじて終了できました。

以後、特に大きな混乱はなく現在にいたっていますが、大学が非常に大きい影響をこうむっているのが革マル派と他のセクトとの抗争で、十四年紛争当時から始まって激化の

運営なりについてご教示を頂きたいと思ひます。

**経営学部長(代)** 喜田経営学部長が多忙のため代って出席致します。

**経営学部**として特に申しあげることはございませんが、経済・教養に比べ、若干教員層が弱点になっていました。本年四月から新入教員を加え充実しつつあります。

**入試課長** 本学の入試についてはお配りしたデータ・アンド・ガイドを見て頂ければおわかり頂けると思ひます。

本学への受験生は全国高校卒業生のうち大学へ行く者の五十分の一位です。四十五年の紛争以来大学改革が叫ばれ、その後いろいろやっている大学は受験生の絶対数は減っても全国高校卒業生に対するパーセンテージは増えているのが現状です。四十五年ぐらいついては結果が三、四年後になって出てきています。本学ではパーセンテージはあまり増えも減りもせず同じ傾向です。そういう面では何か取組が少なかつたように思ひます。

いろいろ学部増設も言われますが外観・内容充実には財政的にもそうかからずやっていると聞かれています。四十七・四十八年度、本学入学生生のアンケートをみますと、本学への志望理由としてあげられるトップは第二志望がだめだからという事です。第二は学費が安いから、第三は先生・先輩の勧めとなっています。四十九年度は学費値上げもあり、先生・先輩の勧めのパーセンテージが増えていきます。やはり経大で学んだらひとりの口こみが大きいように思ひます。そういう面からももっと志望者の大学への関心事に

一途をたどり、大阪でも何人かの死者と数えきれない負傷者を出しています。幸い本学学生に大きい被害は激しくなる一方で非常に憂慮しています。

抗争事件に関連して、今まで何回か自治会執行部室のある学生会館の強制捜索と証拠品の押収がおこなわれ、テレビニュース・新聞等で報道され、大学のイメージを悪くしていることは大きい問題であると思ひます。

では、なぜ断固たる処置をとらないのかという指摘もありますが、ご承知のように大学の自治・教育研究の自由を守るため、身体生命の脅やかされぬ限り、外部の力を借りない方針を堅持したいということがありますので、現状をご理解いただきたいと思ひます。

学生会館が一時は関西の革マル拠点などと言われていましたが、最近

ついて正確な判断をし、今日の時点で大学がどんな手を打つべきかというところを問題提起し、皆様方にご意見を頂きたいと思ひます。

**人事課長** 私も本学の卒業生でございます。教職員・同窓生の本学の将来についての関心をお聞きするため出席致しました。大阪工大や近畿大学では着々と事業をやっております。経大も昨今の志願者の悩み等曲り角にきているようですので、いろんな点で考えなければならぬと思ひます。

先日ある予備校の父兄懇談会でいろいろ進路について説明をうけた訳ですが、その中で「最近の受験生は力があれば国・公立をめざし、次に東京六私学・関西四私学をめざしている。さらにそのすべり止めとして考えられているのが関西では甲南、近大、竜谷、桃山、京産、経大である」という話でした。それから個々の大学の内容にふれ本学についての評価は「歴史もあり伝統もあるが単科大学であるため受験生の希望はあまり強くない」というようなことが言われました。

本日お集まりの皆さんは日頃高校生をご指導頂き、本学に対する評価なり、高校生から見た本学の姿というものについて、特にご関心が深いと思ひますので、本学発展のために飾り気のない卒直なご批判・ご意見を聞かせ頂きたいと思ひます。

**管財課長** 茨木校地について簡単に話致します。

本学の全敷地は二十万平方メートルあり、その内七十%が茨木にあります。その内の四・五万平方メートルが平地として造成されており、これをグラウンドとして使用できる状態にする方針が四十八年に決定した訳ですが

では学生が自主的に使用・管理し、本来の厚生施設としての役割をとりもどしつつあり、大学祭その他の行事に大いに利用されています。

学生運動に積極的な学生達もその方向は逸脱しているものの、自らの行動についてまじめに考えており、我々の指導など殆んど聞きませんが、それぞれ悩むことも多いと思ひますし、忠告の何分の一かは残るものもあると考え、根気よく接していかなければと考えています。また、我々にとって時にはうれしく感じるケースもありますので期待は失いたくないと思ひます。

#### きびしい教職者への道

**教職課程** 先生方の教育実習での指導に對して感謝しております。

最近では教育実習の受入れがむずかしくなり、教育者になることを決めている者に限って受入れをする傾向があり、もっときびしくは採用試験を考へております。

#### 質疑 応答

**問** 商業課程の男子減少傾向は大学入試制度の欠陥がしからしめたように思ひます。最近では全商協会の校長会の働きかけて商業科からの経済・経営・商学部等への入学が比較的容易なように、多数の私学において配慮されております。経大でも商業科出身者に対する入学許可について特別な配慮が必要であると思ひます。理論倒れにならない実践力のある学生育成のためにも、高等教育の実情ご理解のうえ枠をつくって道を開いて頂きたい。

**答1** 現在商業課程からの志願者の数は普通科の十分の一位ですが、試験の合格率については普通科とあまり変わりません。また、試験科目の国語は現代国語の出題が半分以上だし、過去の得点状況をみても社会のある科目については商業科出身の方が良いものもあります。ご承知の通り本学では合否の判定は総合得点でいたしますのでその点、格別普通科有利とも言えないように思ひます。

**答2** 選択科目で倫理社会と商業科出身者に有利な商業一般で受験する志願者が非常に少なく、五十一年度以降は廃止することが決まっているので、商業科出身者は簿記でカバーして頂きたい。

**答3** 推せん制度は文部省を中心に全国的に検討されつつあり、いずれ本学でも何らかの形で取りあげなければならぬのではないかと思ひます。また、推せんの内容に種々の形態があるのもっと具体



的なデータを集め、きめこまかく分析しなければなりません。長期的には実施を考えなければなりません、短期的にはしばらく検討を進めるといのが入試委員会の方向です。

問 推せん制度は一・二年の成績が中心になっています。商業科にはどちらかというと中学から高校への段階で成績の低い者が入ってきますが、人間的には少しも劣っていないと思います。しばらく見て頂ければ良くなるのですからその点をぜひ考慮しておいて頂きたい。

答 通産省の行政が生産中心から流通・消費へ重点が移されつつある現況を考えると、これからは商業重視の考え方は変わってきます。そういう意味でこの提案は非常に重要であると思いますので、商業重視という観点から今後本学の入試制度も検討し、ひいては本学発展にも役立てたいと思います。

問 大分県では中学でのランクづけによりいろいろ弊害が出てきています。そこで商業科としては、これではいけないというので、何か大学へ進学させようという運動をしています。そのためには商業科の科目をもっと大事にあつかって頂きたいという希望があります。国立大学でも一部代替科目をとってもらっています。しかし、経大では商業一般がなくなるといふことで、逆行しているような感じですか。もっとこういう科目をとればというような受験作戦指導を大学でやって頂きたい。

また、学校側の意見が多くて、出席された高校の先生方の意見が聞けるような会にして頂きたい。  
答 商業一般の受験生はここ数年〇

・三多位で増えも減りもせずという現状です。尚受験作戦指導のお話しがありました。各高校宛お送りしてあります本学のデータ・アンド・ガイドにその辺の詳しい資料がありますので指導の役に立てていただきたいと思います。

問 全体の風潮として商業科を優遇している例が増えています。例え商業一般をとる学生が少くても残してほしい。普商共習の結果では商業科は成績が悪いのは事実で残念ですが、優秀な者もおります。桃山高校では商業科でも男子は全員大学へ進学します。他大学で見られるように経大でも商業科の生徒に限って優秀な生徒に簡単なテストによる推せん制を考えてもらってはどうかと思います。

また、最近の学生は経済・経営というのは難しい感じがし、学部イメージとして文学部・法学部・社会学部の希望が多いので、総合大学化を考えられてはどうでしょうか。最後に英語の教員免許は取れるんでしょか。また、その措置はされているんでしょうか。

答 1 文部省の教員立法の方向は科目ごとに限定していく傾向にあります。具体的に本学の現行カリキュラムからしますと、社会や商業はとりやすい訳ですが、語学その他の科目についてはそれらに必要な修得単位を大巾に拡大する必要があり、経済・経営学部体制は大変困難です。あらたな学部増設という問題が出てくれば他の科目の教員免許も考えられるようになると思います。

答 2 皆さんの商業一般設置の要望が相当強いものかどうかを承わっておきたい。商業一般をやめる

につきまして永久にやめるという訳ではありません。必要とあらば再設すればいい訳です。皆さんのご希望の強さを承わって後日参考に致したいと存じます。

問 1 岡山では経大の評価は良くなくており、立命・関大のあとに続くように思いますが、昔はやさしかった京都産大・竜谷も最近では難かしくなり経大の域に近づいたことも志願者の減った一つの原因に思われます。今の生徒は大学に對しはつきりとした目的を持っていては極めて少ない状況です。従いまして経大はいふし銀のような存在で、女人にはわかるが生徒にはよくわからない状況ですので、最近のびてきた近辺の大学を参考にし、総合大学の方向に進んでもらいたい。そして例えば、キャンパスを広くするなど外面の整備も質的向上に重要なことだと思えます。

問 2 亀山高では男子の六〇七割が進学しますが、できる者でできない者にと年々きびしくランクづけされ、学力不足の者は関東六大学・関西四大学をはみだし、地方へ、新しい大学へと流れる傾向にあります。そこで現在の経済・経営だけでいいのかという問題があります。総合大学として例えば大阪学院大学のように新設される学科があるとするれば、これからの社会も考え外国語・情報産業等の学部がよいと思います。最後に新設にはいろいろな面で財政に負担がかかると思えますので寄付・学債をもっと考えられたらいいんじゃないでしょうか。

問 3 具体的な見通しが聞けなかった。総合大学への話が出ています

が、成長期から現在まで何らの施策もなされなかったし、現状では各種の情勢からみて無理です。しかし、総合化は必要だと思えますが、志願者の数からは総合大学の経済学部より高く評価されていることは事実ですから総合大学か単科大学かの二者択一は別にして、現行の経済学部の特色というものをもっと充実させてほしい。説明の立場においても経大はこういう特色があるんだという内容を従来からのオーソドックス経済学一辺倒じゃなく、それに調和するような特色を出せるよう充実をはかって頂きたい。

問 4 この会への欠席者が多いし、入試について大局の見地から考えていただけの年配者の出席が少ないようです。これには「どうしようもない体制ができてくるんじゃないか」という悲観的な見通しを持っておられる先生もあるということに目を向けてほしいと思えます。また、入試科目の改廃については、志願者の多い大阪・兵庫の高校入試の状況を知らずにするのは無謀のように思えますので、もっと高校入試の状況を研究して頂きたい。この会が全国規模でされ、かつ大学の現状説明が多すぎますので同窓会の協力を得て、地域毎の会合にした方が当分いいんだ意見が出るんじゃないでしょうか。最後に今の高校生が何を考えて大学に行くのか、志願者が他大学に比して、だんだん減ってきている実状をもっと考えてほしいと思えます。例えば税理士志願者等の実学志向傾向も考えてもっと幅広い大学経営への発想転換をして頂きたい。

もっと参加者に多く集まって頂くようにしたいし、同窓会についてもそういう風になりたいたいと思えます。私も部屋に閉じこもるような理事長ではなく、どんどん出かけてやりたいと思えますので今後皆様のご協力をお願い致します。

答 2 現在の二学部でよいという訳ではなく、まず内部充実が必要で、良い人材を集めることが新旧交替の今一番必要に思えます。その他図書館を増築するとか、学生の憩いの場所を作ること等、学校

のいたいところをつかれています。のいたったが、文字通りそのとおりだから仕方がない。酔生夢死。お酒をのんで、本を読んで、恋なんかしてる間に、人生が終ってしまふのかなあ。少年老イ易ク、学ナリガタシとは自分のことなんだなあ。論語の孔子サマにしろ、哲学者のルソーおぢさまにしろ、む

へ来て楽しい大学にしなければいけません。また、カリキュラム改善を真剣に考え、これらを併せて学部増設を考えていかなければなりません。はつきりした約束はできませんが、もし増設する方針がきまればいかなる学部を増設するかについては皆さんのご意見をお聞きし、参考にして進めなければならぬと思えます。

広報部長 四時間にわたる長い間、お付き合い頂き、かつ貴重なご意見なり、切実なご要望を頂きありがとうございます。ありがとうございました。

車火災ノ新幹線衝突ノ瞬間そんなことがひらめいたが、人間の死というものは、どんなことをいふかなあ。いみじくも戦時中に、戦争批判で徴召集をうけ、ソ満国境に追いやられたが、その時、死とはなにかということ、一所懸命命かんがえた。水にとざされたソ満国境の原野の中で考えたことは、パスカルのパンセ(冥想録)しか浮かばなかった。彼は「人間はわずか七日間の生存をもてるかの如く生活しよう」と言っているのだけれども。人間があと一週間しか生きられないとしたら、みなさんはどうなさいますか? パスカルはその一週間しかなくても、生存ではなくて生活しようではないか、というのだが、ルソー先輩も、大切に充実した生き方をしようと同じことを言っているのだけれども、大阪経大の同窓会にでかける新幹線のなかで、ふとこんなことを考えてみた。

(六回卒・西日本新聞電波担当・ニュース・キャスター)

答 1 総合大学については過去に機会を逸し、現在もあきらめた訳ではないので、余裕ができれば考えなければならぬと思っています。が、理事長としての年齢、組織の拡大等考えると、先ずもつとはつらつとした首脳陣の出現が望まれます。そして足並みを揃えて早く動きださなければなりません。今は確約できないが事情が許せば何とかしなければならぬと思えます。今の学生気質としてすぐに何とかモノになるようなという実学尊重の問題もありますが、本学

博多の街。河畔の柳。風と光：…ひかりは季節とともにやってきた。という、たいへん詩的だけれども、新幹線がやってくると、良いことがたくさんあるにしても、町のなかでナンダかうわすった感じ。哲学者たちが、そつと町から去ってゆきみたい…:…というわけで博多にも新幹線がやってきたというのに、どうしてこんなにうらがなしいのかなあ。そんなとき一人旅をしたくなるのかなあ。それとも人ごみのなかで恋しくなるのかなあ。このまえ六月、大阪でこの同窓会の理事会があったので、新幹線に乗って大阪にで

かけたけれども、その列車のなかで、…:…そんなことを考えている間に、時は惜しみなく流れてしまふ。新幹線のなかで、トンネルばかり多くて、退屈して仕方がない。だから岩波文庫を読んでいた。ジャン・ジャック・ルソーがたいへん心に残ることを述べていた。それは「人間の地上での生活は、なんと速く過ぎ去ってゆくこ

### 大阪と博多と……

## 同窓会は新幹線で

### 六回 荒牧博之

人間の生きていく時間が短いのでなくて、この短い時間のあいだに、ほんとうに人生を味わう時間が、ほとんどないということだ。生れてから死ぬまでの時間を、どんなに引き延ばしても仕方がないことだ。この間がほんとうに充実していなければ、やはり人生は短いのだ。そんなルソーの本を読んでハッとした。なんだか自分自身

かしの人はやはりエライなあと思つた。しかし、とはいっても、いまからでもおそくはあるまい。残された何分の一かの人生を、時間を、ルソーがいうように充実したものにする手だてはないものだろうか。…:…新幹線列車のなかで、そんなことを考えている間に、新

岩国の少し手前のトンネルのなかで、列車がとまってしまった。列



「ゼミの集い」欄を設けましたので大いに活用してください。

この原稿は現在、大阪経済大学でゼミナールを担当されている先生がたにおたずねしたうちお返事をいただいたものを集録したものです。

「参考までに、事務局よりゼミ担当の先生におたずねいたしました事項は、

一、最近ゼミナールOB会を開催されたことがござ

# ゼミ短信

いますか。されました時はその世話役に原稿を提出するようお願いして下さい。

二、先生のご近況につきまして卒業生に一言お知らせ下さい。

三、その他雑感、随想などございましたらご寄稿下さい。

(事務局・アイウエオ順)

## 稲原ゼミ 稲原康雄先生

一、なし

二、四九年度ゼミ旅行は、「氷雪地帯の交通視察」と銘打って、厳冬の二月、北海道は網走から阿寒へのコースを辿った。寒波の襲来で車内閉じ込めの憂目に逢うことも、覚悟の上で、アルコールと暖衣は十分に用意して出かけたが、幸か不幸か、不時の備えは一切無駄、晴れ上った白銀の世界をお座敷列車や貸切バスは毎日独走する観があった。幾度か真冬の北海道をのし歩いて、聖なる美しさ故にゼミ旅行を此の地に誘った幹事諸君、バスが雪の吹き溜りに突込めば、つまみ出そうと張り切っていた運動部諸君には、荘厳の美も、風雪との闘いもなく拍手抜けの体であったが、三六命を預る身にはけこうな旅であった。ところで、視察の成果は？と愚問を発する向きにはそれによさわしい一例を紹介しよう。五十年二月九日午前十時十分大阪発特急「白鳥」号は、文字通り満席であった。加賀温泉郷を過ぎ金沢に着いた時は、われわれがたむろする五号車の後半部以降から興行のひけあとの静けさが漂ってきた。そこで数人と連れ立って最後尾の一号車まで見学歩いてみたところ、何と

乗客は全部で十七人。(前の六号は食堂車なのでその先は見なかった。)このあとは空の四号車に寝転んで越後路の雪景色を深夜まで観賞していたが、殆んど乗客の出入無く、白鳥はそのまま夜のじまを青森まで突走った。思えばこの優等列車は、大阪金沢間二八七軒の輸送に青森までの一〇四三軒を毎日欠かさず往復しているのだ。これは季節はずれの一時の空白でもあろうが、さすがは国鉄である。

## 岩井ゼミ 岩井 茂先生

岩井ゼミの近況をお知らせ致します。

本年度のゼミの卒業生は約六十名でした。これはとりもなおさず、二年前の参加者がその数であったということですが、これはその当時国際通貨問題が華やかで、大学の内外でその問題につき講演したのが響いて、学内でもわがゼミの希望者が多かったことによります。

しかし二カ年間の六十名(二班に分けての授業)のゼミナリストンをかかえてやってきた実感によるとやはり多すぎたという感じですが、これは指導者教官たる私にとっても重荷であったと同時にゼミ参加の諸君にとっても不満であったらうと思

ます。

そこで昨年改め、ひと組三十名を限度としました。それでも限度以内に押えきることができず、現在の四年生、三年生とも三十名を少し上まわっています。しかしみな熱心に研究されていますので、私としても楽しみです。ゼミは毎週木曜日第三、第四時限ですから、卒業生の諸君も時々おたずね下さい。

一昨年卒業の諸君が今年八月の私の誕生日(二十七日)前後を期して、「岩井会」と称して集まる計画を立てていてくれます。また今日の時点(六月二十四日)では、具体的に会場などきまっています。実現の運びとなれば諸君にあえるのを楽しみに期待しています。

## 倉辻ゼミ 倉辻平治先生

一、小生のゼミ卒生のOB会「倉春会」も今年で早や四回目。十月上旬に開催の予定で準備を進めています。五十名程参集の予定です。案内状の発送等の作業はすべて現役の学生幹事諸君が担当し、OB諸兄との緊密な連絡をとるよう努めてくれています。

二、ゼミナールを通して大学生活をより愉しく充実したものにしたいとの学生諸君の気持を生かすべく、

と解放されたかと思つたら、今度は就職部長を引受けることになりました。就職戦線が厳しい折だけに、その対処に苦慮していますが、どうか後輩のために、何かと先輩諸氏のご援助とご協力をお願い申し上げます

一、今年のゼミ旅行は、九月中旬南北海道の予定です。

一、経大中小研の仕事として、また伝統産業の調査の第一号として、今秋鳥取県の因州和紙の調査を行う予定です。今後も毎年どこかの伝統産業を一つずつ手がけて行こうということになっています。その地域の同窓会・現役の諸氏には何かとお世話になることと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

四十九年度竹林ゼミOB会

竹林ゼミOB会は、例年十一月に開催していますが、昨年は都合により十二月一日(日)になり、年末商戦をひかえ、出席数が心配されましたが、それでもOB・現役合わせて三十数名の出席がありました。

ゼミ自体の発足が三十七年からということもあって、この会は若い世代の集いとなりますが、とくに昨年は女性二名の参加もあり、華やかな会になりました。飲むほどに酔うほどに、声帯模写や艶歌・フォークソングなど多様なかくし芸も披露されましたが、他方先輩諸氏から後輩への貴重な体験談やアドバイスもあり、極めて楽しい、有意義な会になりました。

例年このOB会は現役三回生がお世話することになっており、いろいろと到らぬところも多いかと思いますが、できるだけご要望に添えて、さらに充実したものになりたいと願っています。今年もまたその頃に開催の予定です。お互いにお誘い

昼食時、放課後の時間などを研究室でのコーヒー・ブレイクの時間にあて、学生諸君と寛談することにしていきます。おかげでフォートナム&メイソンの最高級の紅茶やフロインドリーフの素晴らしいクッキーを差入れしてくれるゼミ生もあり、そんな折のゼミナールの効果は抜群です。

## 園田ゼミ 園田理一先生

(一)演習テーマ  
「経営管理改善技法」  
(二)クラスメート、三、四年生クラスとも三十名

(三)演習実施の要領  
一、三年生クラスには現代経営特に経営者の基本理念についての解説、並びに討論。  
二、四年生クラスに対しては  
①五名づつの研究チーム(C・S・T)を編成、チームにはリーダーを置く。  
②C・S・Tはそれぞれ毎週ゼミ演習日以外に、少なくとも一回相互研究の集会をもつこと。  
③研究報告(前週指示をうけた報告担当チームは全員報告席につきリーダーを初め各メンバーがあらかじめ用意した報告の解説を行う)

合せの上、ぜひご出席下さるようお願い致します。なおOB諸氏で住所変更がありました場合は、お手数ながら是非近況とともに竹林先生の方までお知らせ下さい。(現役幹事)

## 田中ゼミ 田中健一先生

田中ゼミ第一回(四十九年三月卒)OBは、園田、野田、坂中らの幹旋で四十九年十二月十四日(日)、思い深い梅田モコで忘年会を催し、平山、武田、秀、渡辺、田中の八名が集まり、昨夏期休暇中の脳溢血、左半身不随入院から快癒後の田中を囲み、病後体をいとうてくれながら盛會裡に懐しの数時を過し、次回会合を期していた。

五十年四月には、園田と秀が共に東京支店事務所それぞれ転勤となり、千葉県市川市に在住するうち偶然に奇しくも両人が近所に住むことを知り、意気投合しているという。

荒木、西口も東京在勤、坂田は所に、長浜は豊川に、岩崎は宮崎に、越智は愛媛に、森川は奈良に、李は神戸に、中谷は大阪にと、各既定の職場で勤務しているが、不明なのは山田、大浜、野尻、大亀、中金の五名である。

経大在学中の幹事は卒業後何の連絡もないので、爾後の幹事世話人を野田に依頼したから、今後、第一回OBの消息は左記へされた。

野田 全寛

田中ゼミ第二回(五十年三月卒)OBはまだ会合なし。

十七名中、就職希望者が多く、楠本、中島、山本剛、原田、山田敏、殿城、仲西、赤井の八人が専任ある

④クラスメートの質疑、研究チームの応答。  
⑤ゼミ担当教授の補足、修正講評。

⑥次週のテーマの提示。  
三、この方式による集団研習を試行して以来成績極めて良好で、回を追って進歩のあと歴然たるものが見られた。

(三)両クラスとも出席点満点(教育実習を除いて)

(二)ゼミOB同窓会  
昨年までは各年度毎に時々同窓会を催したが、本年度は未開催のままである。

## 平ゼミ 平 実先生

一、OB会開催しました。  
幹事……下野隆志君(三三回生)

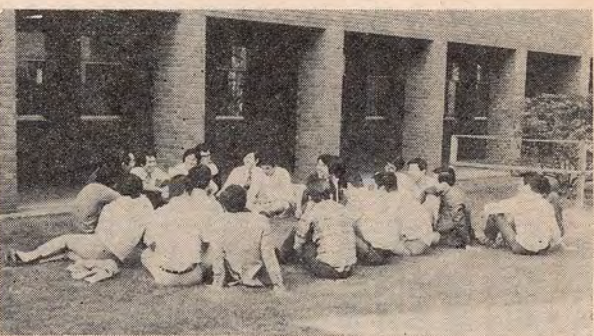
二、小生近況  
若干血圧が高いようですが、たいしたことはないと思います。  
相かわらず研究活動および、学生諸君の指導にはげんでおります。  
まだまだ元氣一杯大いに意欲的です。ご安心下さい。

ゼミOB諸君のご健康とご活躍とを心からお祈りしております。

X X X

激江を見るたび、わが平ゼミナールOB会開催の報告が掲載されていないのをたびたび残念に思っていました。今回激江編集本部、比企先輩のご配慮により平ゼミOB会の近況を報告出来ることとなり理屈抜きの喜びとは斯の如きと喜んでおります。

わが平ゼミOB会は例年大阪近郊在住の者のみの小単位のOB会を含めれば年間五〜六回OB会を開催しており、本年二月にも箕面山荘にて三十名程度集まり泊り込みのOB会



表紙説明・今回はゼミナールに焦点をあて、喜田先生の野外ゼミナールを取り上げました。

平教授にも高血圧気味とはいっても、ますますお元気でOB会には時間の許される限り、ご出席願ひ、共に歌い、共に飲み、共に語り、本当に酔えることの素晴らしさを感じ、またOB会に出席出来なかった諸氏……可能ならば次回には……と思う事しきり、社会化され過ぎた我々の生活に斯くの如き一日が、年に数回あっても良いでしょう。

来年春頃、平ゼミ全期のOB会開催を予定したく思っておりますので各期OB会幹事諸氏、早急に住所連絡先を小生宅宛、ご連絡下さい。

第三十五回卒業 下野隆志

## 竹林ゼミ 竹林祐吉先生

一、昨年組合の仕事をやりに、やっ



いは非常勤で教職(高校、中小学校)に従事し、守倉、玉置、植田、森の四名も教職に意欲を燃して猛勉強中、また平井、佐々木、清水、山本弘、山田直はそれぞれ既定職場でいそいでいる。第二回OBの消息は、在学中からの幹事の一人楠本に連絡されるように。

楠本 健二

電話〇七二〇一五一四六二五  
田中ゼミ第三回生は十三名、第四回生も十三名と、数こそ減少しているが熱情的な教職希望者でゼミナール本来の在り方に立って、「学生、教授の相互、共同的研究」の旗標の下に、「教育の平等問題」ととり組んでいる。広義の教育の解釈に立って、「すべての者が互いに教師であり学生(学者)だ」と表明している。従って、相互に自己反省、批判し責任を感じ、信頼することにしていく。教育の矛盾的事実の実践を「ゼミナールでこそ」と、「自らを問う姿勢」で真剣にとり組んでいる。

田中の健康も小康から快癒に向ったのでご安堵賜りたい。

玉置ゼミ 玉置 保先生

一、ゼミナールOB会開催なし。  
来年三月、小生のゼミナール学生三十数名が卒業致しますが、スタグフレーションの影響で就職は必ずしも楽観をゆるしません。後輩の就職に対するOB各位の絶大のご後援をお願い致します。

二、福井前学長が辞任されましたので去る一月十六日付学長事務取扱を命ぜられました。本学が真理の探究とその実践にたえうる人間の形成とを究極の目標とする自由と融和の

学園であることを自覚し、その伝統を傷つけないよう努力するつもりであります。ご承知の如く浅学非才微力でございますので、今後とも、なおいっそうOB各位のご指導、ご鞭撻を併せてお願い申し上げます。

OB各位のご自愛ご健勝そして活躍をお祈り致します。

玉井ゼミ 玉井孝弘先生

一、なし。  
二、野性豊かな精鋭とガヤガヤ賑やかにやっております。

OBの諸君との出会いが少ないのはこころもとない。多忙であろうが、ちと顔を見せなさい。

余は糖尿と肝臓不全で、昔日の俤はないが、意気だけは保っている。天を仰いで 歩こうよ!

永野ゼミ 永野 仁先生

一、なし  
二、齢四十に迫り、昨年は体調くずれ苦しみました。今年は無理しないよう気を付けているので快調です。「岸和田市現代篇」(小生は教育文化の一部を担当)は、来年三月刊行予定。知友と共同で編さんの「謡曲索引」も来年中には本になりましょう。現代文学にかんする評論を小冊子にまとめたかと考え、いまままでかいたものを読みかえしています。知友二名と共編で「芭蕉全句集」を年内に出版します。

当分一四、五年一堺俳壇史(室町期から、元禄ころまで)に没頭するつもりですので、堺、泉州の旧家に眠っている資料があったら、ご教示ください。

三、二部のみのゼミですが、新三年生も加わってようやく活発になってまいりました。四年生三名、三年

生四名で親密です。

松原ゼミ 松原保太郎先生

「急がねば濡れまじものを旅人の後より晴れる野路の村雨」に一同自分も含めて心から感動傾聴した。これは諸兄人生行路において、特に今日のようなマスコミの時代において大切な基調心得でなからうか。正しい自分のペースで力強く大地を一步一歩踏み締める心構えが特に大切だと信じてやまない。

OB諸兄のご健闘を祈りつつ、  
昭和五十年六月十九日

松村ゼミ 松村幸一先生

卒業生の皆さん、お元気ですか。「澁江」に松村ゼミの通信がのらないのはどうしたのかと、手紙に書いておられた方もあったようで、今年はこの紙面を借りて近況をお知らせします。

松村ゼミの第一回の卒業生をおくりだしたのが昭和四十二年の春です。から、もう八年になり、今春の卒業生で九回目ということになります。

昨年卒業した人たちが十数人、今年の正月に集まりましたが、その他はOB会の機会がありません。年賀状のやりとりをしているうちにずいぶんと住所のかわっている人もあるよううで、今年には、全卒業生の名簿を作ろうかと考え、今年卒業した幹事にお願ひしています。卒業後、勤務

先、住所などに変更のあった方は、私のところにご連絡いただければ幸いです。名簿が出来ましたらそれを機会に卒業生全員が一堂に会するというのは無理かと思いますが、学年別にでもOB会をもちたいかどうかと思ひます。いずれにしても、ひまがあれば学校へでも自宅へでもあそびに来て下さい。

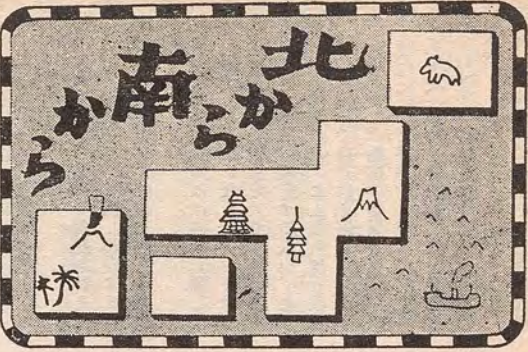
三ツ星ゼミ 三ツ星堅三先生

(十九世紀英国小説研究)  
本ゼミは、去年から始まったばかりで、まだ卒業生を出してありません。現在四回生は四名、三回生は八名というちんまりしたゼミで、和氣藹々の中には、情熱を燃やして、意欲的に、原書に取り組んでいきます。小説の鑑賞と研究だけでなく、英語の力を養うことや、人生とは何ぞや、人生何をなすべきかの問題も考えています。

濱本ゼミ 濱本 泰先生

一、OB会開催の予定はありません。二、浜本ゼミの伝統はいかかわらず生きております。全日本学生経済ゼミ大会(昭和47年東京経大、48年東北大、49年松山商大)や関西ゼミ大会に、日本経済論、経営総論、経営管理論、経営組織論、労働管理論、証券市場論の各部門が参加しております。また、春季合宿はともて、夏季合宿は場所を変えて行っています。ご参加下さい。

三、去る四月から経営学部長の立場にあります。本年は就職難の時期にあたっていますが、よろしくご協力下さい。



第六回 内田 甫

三夫婦と孫  
公的機関誌に私この記事など、どうかとも考えたが、同窓会本部より、随想でもと云うご書面をいただいたので、ここに筆をとった次第です。

朝おきるなり「おじいちゃん」「おじいちゃん」と呼んですぐ傍に寄って来てくれる。これが今年四才になった男の子で私の内孫である。私の家は、私の両親、私達夫婦と長女夫婦の、三夫婦と私達の孫が同居している。

孫は、その両親に対しては、パパ、ママ、或いはお父さん、お母さん、と呼ぶ。私は、私達祖父母と、曾祖父母を呼ぶのをどうしたらよいかと、人しれず考え、気がかりの一つであったが、孫自身は何時のまにか曾祖父母を「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼び、私達に対しては、「おじいちゃん」「おばあちゃん」とまったく、ごく自然のうちに区別して呼ぶようになり、私達も皆がそのように呼びなれました。私の口から云うのも大変おかしい話ですが若く見るところがあるのか電車、バスの中、百貨店、人ごみの中で、場所をかまわず大きな声で「おじいちゃん、おじいちゃん」と連発するの時には、シロジロとながめられる。そして思わずは笑みを浮かべていた。こんな場合私は、表向き苦笑するが、心中では、この孫がますます可愛

### アンケート 短 信

この原稿は、同窓会会員の皆さんからお寄せいただいたもので、事務局の名簿に より無さく抽出で選んだ方々です。

といっても、単に何でも結構ですというわけにもまいりませんので、特に①現況 ②母校同窓会に希望すること ③同窓の友人などのこと ④自由にお 書き下さい。ということアンケート式の質問に対してお寄せいただいた短信用です。

もとより、同窓会会員は全国各地にあって、北は北海道から南は沖縄にいたるまでそれぞれ活躍中ですが、これはその近況です。

ゆく思われてきて、何ともいえない明るい気持になるのである。

食事時には、七十年代、五十年代、三十年代の家人が食卓に顔を揃える、話題の中心は何時にもつばら、四つの子である。何をやって、何を言っても、罪がない。英語の教師である父親の発音をまねての、無邪気で可愛い一つ一つの言葉とその態度に、皆の笑いがとまらず、来客の声も聞えないことすらある。

子供のしつけは、親が一番適切と思っ ている私等夫婦は、何のわだかまりもなく、皆と一緒に気楽さそのもので話し合 う。このような、だんらんの家庭を私は、最大の誇りとし、実に喜ばしくしみじみ幸福と思っている。

「核家族化」が一般化されていて、三夫婦同居など思ひも及ばぬと考えられ勝 現在、住宅事情その他の問題で善悪は別として、人それぞれの考え方の差はありましようが、現実我が家は、どうにか三夫婦が楽しく同居しているのである。

思えば、家族は社会の最少単位であり、社会生活のすべてが和をもった愛情ある家庭生活の、営みにあるのではないかと考えられます。それに付けて、私は同窓生の皆さんとともに、今は亡き渋谷鶴先生の熱弁をまされた、例の親と子 の問題について、我々が何時も拝聴した過ぎる日、あの感銘深いご講義を、今さら想い起しおる此頃でもあります。

日常のことども、或いは食事のひとつと きに見る如く、そこには世代的断絶もなく、むしろ世代的近接があるように見受けられ、融和の中に笑いが生まれ、明る さがただよぶのも、これもすべて、わが孫のお陰だと感謝しております。

このような、家庭の中でこの孫がすくすくと成長し、やがて時は移り、何十年後若しや、この雑文を目にしたらと、夢はどきどきとふくらみ、想像するだけでも、今から胸がわくわくするのを感じるものである。

また、富山在住の次女が、主人の四ヵ月間に亘る、大阪での研修派遣のため、三才の男孫を連れ、母子がこのほど来宅した。それで、孫が一度に二人となり、平素のにぎやかさが更に倍加された。

我が家の一家団らんは、こうして、また、かわりなく続くことであろうし、何時までもこの幸せが続いて欲しいと、心から願いつつ今日もまた、それぞれの孫の成長を心から、祈ってやまないのである。

(昭和五十年六月中旬記)

第二十一回 井上 寛

卒業後二十年、昔流でいわれた、ふた昔が過ぎましたが、特に昭和四十年に入り、そのサイクルが、三年単位、一年単位に短縮され、人間が時代のスピードに取り残されて行く今日です。

同窓生諸先輩には、何時の時代にも、お世話に相成り、深く感謝しております。

小生在学中は、バスケットボール部に籍を置き、卒業後東京居住時期を除くほか、現在も、母校バスケットボール部の監督として、若い現役ともども永年の目標、一部昇格を目指して、頑張っております。同窓生諸先輩のご期待にそうべく本学体育会の健全な発展と、その技術水準を高めるため、毎月二回監督会議を、

第二十一回 大塚 尚

卒業後二十年、毎日仕事に追われ、山岳部のOB会に出席することも、少なくなってきた。入社して二十年、同期の人達もいちはむつかしい地位におられることと思ひます。先輩や後輩また同期の友人と話をしている時が唯一の心安まる時間です。

現在寝具業界の会社におりますが、ここ十年間の寝具インテリヤ関係の発展はめざましく、またこれに従事する後輩も増えてきました。そこで皆で横の連絡をとって見ませんか。寝具、インテリヤに勤務する人、フロン店、寝装店経営の



北から南から  
人、一度意見の交換の場所をもちたいもの  
です。

第二十一回 清水 庄三郎

同窓の皆様には益々ご健祥のことお  
喜び申し上げます。  
さて卒業してから二十年近くになりま  
すが、同窓会やクラスの皆様には、ご無  
沙汰し申し訳ございません。

母校が恩師先生方ならびに職員の皆  
様、また先輩諸兄姉のご努力によって益  
々発展して行く姿を見て感謝してありま  
す。大学らしい新学舎、大隅通りの町並  
の変貌は、おどろく程です。農業用水の  
側道にバスが土ほこりをあげながら走  
り去ったあの道も、今は見当りません。  
幸い、高校の教師をしてありますので  
二年に一回の懇談会に招待され母校を訪  
ねる機会を得て、なつかしい恩師の先生  
方と語り会うのがなにより楽しみにし  
ております。

最後に、母校と同窓会の発展を祈り、  
先輩諸兄姉の皆様のご指導とご鞭撻をお  
願ひいたします。

第二十二回 大槻 明司

巷に批評家が多く、評論家の数少ない  
ことは口惜しく思う。  
物事や人品格格の是非を角度を替えて  
論じ合ひ、善悪是非を判別し論定する真  
の評論家の言少なくして意の多い論術に  
は敬服する。

此れにひきかえ世間には善きも悪しき  
も美も醜も、おかまいなしに、おまけに  
本人不在の場所まで推量だけで、如何にも  
上手に論評、酷評、嘲評する人が、余り  
に多いには呆れる。こんな人ほど我儘  
で、独りよがりて自分自身何もできない  
不幸な人が多い。物事の結果を見て、批  
評するのは、いと容易すく誰にでもでき  
ることだが、善悪是非を論じ人を誉める  
ことのむずかしさは誰にでもできる業で  
はない。

われわれは朝夕すべからく上手な批評

家にはなりたくない。せめて、下手な評  
論の一つも語れるよう努力したいと願っ  
ているが、いつか叶えられそうもな  
い。思うに「其れ人生は行なり」これが  
何もかも解決に至らしめてくれる一番容  
易すい凡人の人としての成功への近道で  
はないかと私はつねづね思っています。

第二十二回 川崎 清市

前略「瀬江」が送付される都度懐しく  
拝見しております。

ついでには小生在学中は運動部(準硬式  
野球部)に在籍しておりました関係で運  
動部のニュースに興味をいだきます。一  
般的には新聞、その他で承知してありま  
すが、紙面の関係、その他で許されれば  
今少し詳しい情報掲載をお願い致し度く  
よろしくお願ひ申し上げます。

第二十二回 森田 利一

母校を卒業以来十九年いつのまにか四  
十才をこえる年になりましたが瀬江を手  
にするたびに在学時のごが昨日のよう  
になつかしく思い出されます。今春はサ  
ッカー部で活躍した竹の内君という新鋭  
を職場に迎えることができ、先輩の一員  
として大変うれしく思っております。母  
校も我々の卒業時に比べずすべにわた  
りて格段の発展をげたようであつたとい  
うのですが、時折新聞紙上に学生の過げ  
な動きをみるのは残念であります。今日  
の大学がかかえる共通の問題かも知れま  
せんが、建学以来の伝統たる自由と融和  
の精神で、せめて本学だけでも正常な学  
園であつてほしいと思っております。三  
十一年卒中村先生ゼミの諸兄の近況も知  
りたいものと思っております。

第二十二回 高鳥 八朗

平素渡辺様はじめ同窓会本部のご一同

至極元気で過しておりますご安心下さ  
い。  
一、同窓会に希望すること。  
役員の方々が実に熱心にやってく  
学内の動向、各卒業年度別の状況など  
誌ご送付によりお知らせ頂くことは、ま  
ったく感謝に堪えません、益々ご発展を  
お祈りいたします。

三、木村ゼミ同友  
林安之君(日産化学)は時にふれ電話  
で話し合いますが他のゼミ連中中村君、  
仏原君、前田君、島上君、杉村君、高島  
君、鎌田君の面々お元気のことと思いま  
す。ゼミ同窓を根幹として順次旧交を温  
めたいと思ひます。諸兄のご健闘をお祈  
りいたします。

第二十三回 友守 孝次

会誌の編集ご苦労様です。

同窓の皆様、日々ご健祥で活動のこ  
ととお慶び申し上げます。さて小生早  
いもので卒業以来十八年、ようやく家業も  
身につき、社会的にもいろいろ役を頂き  
多忙な毎日を送っています。同窓も山  
口県のみ毎年出席していますが、遠方の  
友の近況をお知らせ頂ければ交換し合  
たいものです。  
では会誌の発行を楽しみにしてござ  
います。

第二十四回 小池 幹夫

前略ご免下さい。大阪経大同窓会の皆  
様お元気ですか。長らくご無沙汰失礼致  
しております。昭和三十三年に母校を卒  
業して、十七年小生も不惑の四十才を迎  
えました。現在兵庫県立長田高等学校庶  
務係長として元気に公務にはげんでござ  
います。

今年の「神戸まつり」において経大の  
吹奏楽部の諸君の立派な行進をみせてい  
ただき、久しぶりに学生時代をなつかし  
く感じるとともに思わず拍手を送りまし  
た。ほんとうにすばらしかったと思いま  
す。  
今後益々のご活躍を期待いたします。

のご尽力に厚くお礼を申し上げます。  
総会についてですが毎回決った日時も  
一理ある訳ですが、また逆にどうにも出  
席出来ない人々もあるかと存じます。十  
年に一回位は日程を変えて頂けると懐し  
い人にも、会えるのにと、ふと思つた次  
第です。

第二十三回 荒木 登久次

「大樽会」を結成、川西市で活躍中  
阪神間のベッドタウンとして、また中  
核都市として急激な発展を続けている川  
西市は、いっぽうでは高度経済成長の落  
し子の如く、行政上の諸問題をももろに  
うけ、悩んでいる。ちょうど現在日本の縮  
図版のようなものである。

この川西市に奉職するわれら経大卒業  
生二十数名は、その中核となつてすばら  
しき公僕ぶり(？)を發揮している。  
数年前、後輩職員の前頭で経大卒業生  
のグループ「大樽会」が結成された。年  
数回会合を開き、日頃の悩み、うつぶ  
んのはげ場、ときには研修、交流の場とし  
て相互の親睦と研さんをふかめていま  
す。近く行なわれる市議選(七月十日投票  
予定)には市内在住の先輩が立候補され  
るとか。われわれのよき理解者がふえる  
と期待している。

また、市内に居住されている教授も行  
政委員会の委員や自治会役員に就任され  
市政発展のためご活躍を賜わるなど、経  
大関係者が市政推進の大きな原動力にな  
つていて自負している。  
同窓生諸氏の健闘を祈るとともに、わ  
れら大樽会に絶大なご支持、ご声援を  
お願ひしたい。

第二十三回 金池 美光

拜啓、同窓会の皆さん、平素の疎遠を  
お許し下さい。

光陰矢の如しとか、十年一昔という諺  
が私にとって現実のものとなりました。  
母校を卒業して早や十八年の歳月が流れ  
ました。  
証券界という複雑怪奇な異色の社会

最後に母校経大の発展を心からお祈り  
いたします。  
敬具

第二十五回 久米 伸

一昨年の暮、東京支店、横浜支店合同  
にて弊社 株式会社上組 大阪経済大学  
京浜OB会を開催しましたところ、十八  
名全員の出席が得られ、久しぶりに学生  
時代に若返り、楽しい一時を過ごすこと  
が出来ました。弊社全従業員五千名強の  
中に、大経大卒業生が恐らく八〇名程在  
社しているのではないかと推測され、一  
大学関だと出席者全員心強く感じた次第  
です。今後も大量の後輩が入社されんこ  
とを、望んでおります。

第二十六回 諸田 治

あの懐かしい大樽の茂れる学園を出て早  
や十五年、我々三十代後半の同窓生諸氏  
もさぞ実社会の中堅の立場で頑張ってお  
られるものと推察いたしております。

現在私自身予期していなかったのです  
が若い人達、とくに女性のあいで人気  
のある神戸のパン、洋菓子メーカードン  
クの営業部に勤務いたしております。三  
五回生の平野淳一君も私のアシスタント  
として何かと支援してくれています。三  
一回生の山下松衛君も当社の名古屋で活  
躍しています。

私は学生時代はラグビー部に在籍し、  
現在もOB会に参加し、柴田秀一OB会  
長(第八回、日立造船勤務)を中心に、  
現役への援助など、ささやかながら続け  
ております。もちろん秋のシーズンには、  
花園ラグビー場(現役の応援と観戦  
にいらつてます。本年は我が栄えあるラ  
グビー部より一名梶岡君(五十年卒業)を  
採用し毎日頑張ってくれています。本学  
の栄光と充実を願ひ、本学関係者および  
同窓生のご活躍を祈ります。

で、投資者のニーズと心理の探究を中心  
に自己の人生観を求め続けております。  
昨年七月一日付けで奈良支店より現在  
の上六支店へと転任して参りました。在  
阪、近郊の同窓の皆さん是非一度お立寄  
り下さい。(近鉄百貨店北向い角)  
【私の小さな告知板】

最も嬉しいこと……上六支店で樋本

(四十七年卒)坪井(四八年卒)中田(四  
九年卒)の三名の後輩と仕事、遊びに協  
調出来る。

最も成し得たこと……大阪屋証券  
(株)の経大OB会結成に努力したい。  
また二回生の皆さん二十年ぶりの再  
会、学年同窓会は如何ですか。  
最も失礼していること……京都支部長  
の木下さん、毎年の支部同窓会のご案内  
にも拘わらず、出席出来ず残念です。お  
許し下さい。

第二十三回 中村 勲

いっちは、瀬江を説き立つ場にいたので  
すが、今回は逆に、読まれる立場になり  
何から書いて良いのかと思案しますが、  
やはり学生時代のこととなりますと授業  
にゼミに、また試験の苦しさ等々ありま  
すが、私に強く残っている思い出は、当  
時私はサッカー部の主将をしており全部  
員の努力とOBの良き指導を得て、佐野  
監督(五回卒)の指揮で関西学生リーグ  
優勝と云う輝かしき栄冠を手にしたこと  
です。さらに体育の時間まで応援に当  
てていただいた学校とすばらしい学生皆さ  
んの協力を得てあれ程学校全体が一つに  
感じたことは忘れることが出来ません。  
卒業後も全日本出場した団体六回出場  
の表彰を受けて本当に喜んでおります。  
昨年もう久しぶりに現役選手達が優勝を

第二十六回 三木 庸義

現在姫路市建設局土木部道路管理舗装  
課に勤務致しております。  
現課に勤務して八九年余り経過しま  
すが、道路管理について最近よくマスコミ  
に取り上げられます。道路に起因する事  
故の問題、また舗装に対する市民の要望  
も年毎に強くなり忙がしい毎日を通して  
おります。

卒業後、早や十五年過ぎましたが、渡  
辺敬司教授のゼミの方達は、いかがお過  
ごしですか?一度会合を持ちたいもので  
す。  
小生にとりましては、経大は、切つて  
も切れない縁で結ばれております。小生  
の中学生の頃(昭二十六年頃)、当時、  
父親(内田政徳二十一回生)が経大に在  
学中でしたので、その頃より、しょっち  
ゅう経大へ、行き来しておりました。

第二十六回 門田 清

昨年十一月同窓会総会に、卒業以来は  
じめて出席し諸先生をはじめ、なつかし  
い方々とお会いしました。経大へは、四十  
一年夏の税理士試験以来まいました。  
小生にとりましては、経大は、切つて  
も切れない縁で結ばれております。小生  
の中学生の頃(昭二十六年頃)、当時、  
父親(内田政徳二十一回生)が経大に在  
学中でしたので、その頃より、しょっち  
ゅう経大へ、行き来しておりました。

昨年十一月同窓会総会に、卒業以来は  
じめて出席し諸先生をはじめ、なつかし  
い方々とお会いしました。経大へは、四十  
一年夏の税理士試験以来まいました。  
小生にとりましては、経大は、切つて  
も切れない縁で結ばれております。小生  
の中学生の頃(昭二十六年頃)、当時、  
父親(内田政徳二十一回生)が経大に在  
学中でしたので、その頃より、しょっち  
ゅう経大へ、行き来しておりました。  
また、四十七年、親友、梶原君(当時、  
大阪学院高教諭)を亡くしたのは痛かっ  
たです。  
小生、経大卒業後は、関西学院へ進  
み(奨学助手補)そこで、転向、そして、  
シャープ(経理部)のサラリーマン生活  
をへて、今の書店経営と、一転、二転し  
ておりますが、フレッシュさは、いつま  
でも忘れないように、努めています。  
最近、経大もマンモス化するにつれ

北から南から

第二十三回 土井 基次

一、現況。

原稿を発送しようと思つていた所へ突  
然の先輩と後輩の同時の悲報全く信じら  
れないことでした。  
それは六月十四日午後六時頃の出来事  
です。第十六回生の森本寿夫、第二十四  
生の森本良生両氏が淡路の福良にて仕事  
中に亡くなると云う知らせを聞いて、私  
はあわて、現場に向つたのですが、フ  
ェリー等の関係で間に合わず、ご遺体と  
対面したのは神戸のご自宅でした。  
我々サッカーOB連及現役の中心とな  
つて、いろいろとお世話になつたその人  
が今はもういない、まだ信じられない気  
持ですが皆様にお知らせするとともに、  
謹んでご冥福をお祈り致します。

北から南から



て、あちこちで同窓とタッチできるのは、心強いかぎりです。最後になりましたが、お世話になりました。セミの喜田先生及び、日本経済史の黒羽先生が、ご健勝で、古稀をお迎えなさいましたことに慶賀申し上げます。

第二十八回 鶴谷利一

経大卒業後、立命館大学大学院に進み、経済学修士の学位をいただきました。一方、同窓会に勤務して十四年目を迎える学年主任等の重責を毎日、多忙の日々を送っております。また同窓の大久保、高見両君等とも、同じ職業柄、交友を続けております。最後に、経大同窓生のご活躍を祈ります。

第二十八回 西田諱司

昭和三十七年卒業の皆さん、お元気で、お元気で。二部で私とともに学ばれた諸君、その後いかがお過ごしですか。入学時の約半数になっていた仲間達、卒業式の日と同窓会で撮ってもらった一枚の記念写真を折眺めては、あいつは今どうしているのだろうか、彼は郷里へ帰ったかな、などと、当時運転士勤務で、講義を受ける時間のやりくりで苦勞した自分のこともついでこの間の如く、あの顔、この顔を、そしてあの先生を、教室を懐かしく思い出している次第です。同窓会に出席しても「見覚えのある顔」に出会えるのはごくまれです。そう云う私も欠席がちなのですが……。一年で無理なら二年、いやせめて三年に一回でもみな出席して、互いに元気な顔をみせ合いたい、昔を語り、肩をたたき合いたいものです。

では次の同窓会を、愉しみにしています。みなさん、お元気で！  
もうあれから十数年。「光陰矢の如し」とはよく云ったものですね。

第三十二回 浜口正行

前略、現況報告をさせていただきます。小生が勤務する土庄高校に本年四月より、経大卒の紙本先生を迎え、大先輩の石井先生をまじえ、三名の経大マンで商業科の授業を数多く担当し、近い将来商業科のトップを力を合せて頑張っています。

学校の方は近年進学希望者が急速に増加し、数多くの生徒がわが母校にもお世話になっていきます。この人達が卒業後、土庄高校に帰って教鞭をとる日を心待ちにしています。

経大マンが一人でも多くなることを願っている今日、この頃です。

第三十四回 田淵 直

四季の変化や己の体調に関わりなく、漫然と過ぎてゆく時間の中で、何人かの見知らぬ人との出会いに不安や焦りを覚えた日から七年。学窓を懐しく思い出すようになつて数年。日々の生活に右往左往するばかりか霞の中に形も残らない。私達芸術会本部OBが学外で始めた総会が思いがけず恒例になって四年。僅かな思い付きが横に繋がると同様の輪を広げつつあります。

何らかの形で経済社会に関与している同窓が忌憚のない対話の中から明日の生活に実像を見出そうと思っています。大阪経済大学同窓会も同様の目差していることでしょうか。良い知恵をお貸し下さい。温故知新

第三十四回 高橋 努

拝復、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。「瀬江」十一号の原稿依頼をうけ同窓会というより大学に、日頃お願いしたいと思っておりましたことを含めたことを別紙同封にお送りしました。末筆ながら編集される方々のご苦勞に感謝いたします。

二つの提言

第二十八回 桜井 富雄  
一、光化学スモッグの東京から、益裁・植木の盛んな埼玉県大宮市の東北部へ転居しました。仕事は、入金伝票の光学文字読取りのシステム設計というマルチ経済学とは直接関係のないことをやりました。  
二、同窓会名簿に、職業、会社別の索引を付けられないでしょうか。  
三、前住所の近くに元府庁秘書課勤務の山口義孝兄がおられたので、一夕話し込みに行つたことがありました。なつかしかった……(何が?)  
四、昨年末、兄の思わぬ死にあい、人の心の深淺、屈曲に、思いをめぐらせております。

第二十九回 瀬崎 補 久  
一、現況について……生活のかかつている我々サラリーマン亭主は春闘より頑張れノ子供のお守りノ仕事バリバリノが現況なのでは。  
二、同窓会に希望すること……同窓会OBと現役の交流をさかんに。年間の文化、行事、催し、スポーツの日程を公開してはどうでしょうか。  
三、同窓生(友人)などのこと……一番気になることの一つである。仲の良い友人とは連絡を密にするなどして情報交換している。  
四、その他雑感について……新聞紙上などで名前を発見した時、なつかしさがこみあげる。最近うれしかった事は昨年の関西サッカー一部リーグで久しぶりの優勝などである。

第二十九回 大 部 隆 典

前職(日本NCR)を退職し、現在の伏見信用金庫に入庫して十年が経過しました。当庫もおくればせながらオンラインシステムが稼動しはじめ、昨年は準備

卒業以来八年目を迎え、この間急速な市民社会の変化の中で、一步でも時代推移に対応しようと高校教育に係わりながら生活してきたように思います。今後、教育のダイジェンを模索しながら教育問題に更にチャレンジしていきたいと考えています。

ところでジャーナリズムや受験雑誌等で私立大学の教育、研究や財政等の問題のコメントがされ、また危機としてとり上げておられますが、かかる中で母校の動静を注視しております。憲法二六条の「教育を受ける権利」や教育基本法六条の「法律に定める学校は、公の性質をもつ」また同法十條の「教育行政は、教育の目的を遂行するに必要な諸条件の整備確立を目標として行なわなければならない」等の諸教育法規と現在の大学の実態とのへたたりを、痛感するものであります。また母校の発展を願う立場から、多面的視角による同窓会、同窓生の提言が大いにでてくることを希望し、またその中の一つでも反映されることがあれば、よりベターであらうと思っております。

「大学大衆化」がいわれ、学生数と大人数の増加の中で、私は二つの要望を経大の理事会や執行者(教授会)に対して持つておきますが、一つは経大は教育と研究、経営等においてこのような面でユニークさがあり、且つ課題として大学が推進しているということだけでなく、打ち出す必要があるのではないかと思っています。たとえば教養面でオーソドックスな経済学とともに実学教育もより導入する(情報処理教育)等  
今一つは今後このような大学を創造するということ具体的策を得るようになり、それを共通理解をしていくようにするという点であります。

もちろん大学といえども、現代の社会体制の大学として文部省や財政等の制約があることは前提としながらも、文部省令の「大学設置基準」に合わせるべく、人的(教員、職員)構成物的(校舎・校地)構成の条件で近づけることなどを一ステップとして教育、研究条件改善、学部増設を含め全般的な展望を確立

のため大変な仕事量でした。コンピュータ依存度の高い昨今、コンピュータ利用の困難さ、便利さを今さらながら考えさせられています。  
妻の実家が経大の近くのため横の道路を時々通りますが、昔の風情はまっ正門の前を道路が走り、昔の風情はまったく感じられなくなり、学園祭の前夜祭等がなつかしく感じられます。二九回生で清水、宝田、中山君は消息を知っていますが、他の方は知りません。暇があれば、連絡して下さい。最後に「瀬江」編集委員のご苦勞に感謝いたします。

第二十九回 合 田 佳 夫  
私も卒業して早いものでもう十二年になります。その間横浜、名古屋、千葉と転動し、現在小樽に住んでおります。卒業後、十年目に母校同窓会に参加、大学院が設立されておられ、当時のおもかげがうすれておりました。母校のニュースが入ってきましたが、先日経営学をおそわった真野先生が北大に勤められているのを知りおどろきました。  
スポーツニュースも入らずさみしいかぎりです。  
母校の益々の一層のご発展をお祈りいたします。

第三十一回 上 田 晃 三  
同窓生諸氏には各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。  
小生卒業と同時に大阪商業信用組合に入社し、早くも十年、九条支店、本店営業部と転動し、現在総務部で人事関係の仕事をしております。仕事の関係上母校を時々訪問しますが、活気に満ちた後輩諸君を見るにつけ心強く思っております。母校の益々の発展をお祈りします。

第三十五回 大 伴 国 泰  
昭和四十四年卒の皆さん、殊に池内ゼミナールの皆さんお元気ですか。  
現在、私は岩国市役所秘書室に勤務、多忙な日々を送っております。仕事は仕事だけに自分の自由な時間は誠に少なく常に拘束の身ゆえ、同窓会、ゼミナールの集いには、とんとご無沙汰で誠に申しわけなく思っております。出張のおり、新幹線より母校をながむに、学生時代が懐しく思われ、時間が許せばすぐにでも下車して、キャンパスを歩いてみたいと思ふことがしばしばあります。  
三月山陽新幹線の開通により、かなりの時間短縮、各所に住んでおられる池内ゼミの皆さん、一度こ来岩あれ。

第三十三回 吉 田 脩 一  
いい古のされた言葉だが、時のたつのは真に速い。大学を卒業してからもう九年がすぎた。卒業後、ある会社の営業マンとしてしばらく勤めまして。その後、自営の呉服屋に転業して今に至っている。別に今はやりの脱サラリーマンなどという意気込みがあつたことではない。周囲の事情でそうなつたまでである。大学時代、合気道に熱中していた私を知っている人々は、異同音に、「およそお前さんらしくない商売になつたなあ」と言う。昔かたぎの老人達は、「呉服屋になるなら、なにも大学に行かなくてもよかつたらう」などともいう。

しかし、私はそのどちらにも反論する。私は、私なりに結構、呉服屋らしい呉服屋だと思つている。呉服屋という、またで歌舞伎の女形のような、へなへなしたる男を想像するのは、多分ドラマの中の呉服屋からの錯覚であらう。

第三十一回 田 中 照 彦  
学窓を巣立つて早いもので、はや十年の歳月が過ぎました。同窓の諸君元気で毎日を送っていますか。小生も大阪を離れて名古屋にて厳しい毎日を送っております。当社の名古屋営業所には経大OBが二名おり心強い限りです。同窓会名古屋支部の連絡先を教えてください。

第三十二回 松 岡 俊 三  
心理学の講義を受けている時に新幹線が走り始め、珍らしそうに教室の窓から眺めた時の事を懐かしく思い浮べています。当時、新大阪やその付近の街も物静かであったが、最近では一変し、その変貌に驚いています。  
卒業してから、やがて十年経過しようとしています。十年一昔といわれますが、それにしても月日の過ぎ行く早さを身感じて感ぜざるを得ません。学業を果立して以来、自分は一体何をしてきたか顧みるとき、虚しく過して来た自分を哀れむものであります。  
偶然の出会いにより心の通いあう親友に巡りあい、それらの人々のお陰で現在があります。教職に就いてやがて十年、職場には同窓の方も何名かおられ、心強く、楽しく働かせていただいております。職場で同窓の方々とお茶を飲みながら語りあうこともしばしばあります。時に自分が綱渡りのような人生を歩んでいる気がしてこれが人生かと物思いにふけるようなこともあります。

最近、恩師から母校の風評が斜陽きみであると聞き残念に思いました。一つの校風が出来上がるまで約十年かかるというわけですが、すでに母校には相当年月の伝統があります。一時、学部増設の噂も聞き期待しておりました。人氣が少ないうちは単科大学であるが故の宿命でありましようか。母校の益々の発展を期待しております。

大学で、十分に学問をしたとは言えないが、最高学府で四年間自由の空気にふれたということが、商売人としての私を、根底のところできさえてい。そばんを習ったから、すぐそれが商売に役に立つというふうなものではない。商売人が商売人であるためにはもっと深い、底のところが必要なものがある。それを大学は教えてくれたと思うのである。  
四年間、骨身をけずるようには修練をした合気道もまた同様である。合気道で力が強くなって荷物を持つのに便利だろうというふうな馬鹿な話ではない。合気道の精神も商売の精神も一つであると、年をとるにしたがって思うのである。  
いつの間にか、私も二人の子供の父親になつてい。も早や、フアイトと根性だけで行ける年ではない。商売人としての私の、本当の正念場にさしかかつていようである。

第三十六回 石 井 彰  
昨年の七月からニッポンレンタカー阪急御橋路営業所に勤務しております。先日日和歌山から乗捨車を廻送するため二六号線四三号線をドライブしました。経大生の頃通学した道路、アルバイトをした道路、友とドライブした道路、数年前を楽しく思い出しながら大阪市内を通り抜け姫路まで無事帰って来ました。  
来姫の節はニッポンレンタカー姫路営業所にお立寄り下さい。格安にてレンタカー貸出します。お待ちしております！

第三十七回 青 山 賀 範  
経大を卒業して早や四年余が月、小生は、兵庫県は但馬の国、豊岡の産で豊岡育ち、但馬は「弁当忘れたも傘忘れるな」と云われるくらい雨の多い所ですが四季の顔があり、春は桜、夏は海水浴、



秋は紅葉、冬はスキー、温泉など自然とレジャーに恵まれています。大学に行くまでは、田舎はいやだと思っていました。が、四年間大阪で過ごす、公害などの少ない田舎の良さがわかり、特に最近になり、会社が田舎にあり、その上、仕事の関係で自然に触れることが多く、非常に感謝している今日この頃です。

第三十八回 吉村好示

現在、奈良市役所に籍をおいております。勤めだして三年ともなると、夢の中で仕事をしていた気持ちの中に少し「ゆとり」がでてきたように思われ、そのような時、学生時代の友人のことを考えたりします。でも友人とて動機に追われているのでしょうか、暇をみつめて便りを書き、健康を確かめよう程度、そんな自分が少し残念ですが、でも健康で動いている友人のことを考える仕事への意欲もでてくるのです。

す。私は、入社時から自分でも予想しなかったし、一度も体験したことのないコンピュータとかかわることになりました。それから三年余、やっと主任システムプランナーとして活躍？出来るようになり、めまぐるしく変わり行く金融機関の機械化の中で日夜業務に、研究にはげんでいます。

第三十九回 秋山光一

まだまだ卒業して二年余、大学の名前を聞けば、だいたいの情景は思い浮かべられるわけで、特になつかしいという感じはまだありません。近況としては、ゼミ仲間やクラス仲間とは、どうも音信不通のようになっていますが、教職過程を履習した友達とは、時々文通している昨今です。そして、予想もしないような所で、生徒を引きつれた仲間と会った時など、お互いの教職経験を話しあって、再会を約してわかれたことも、一、二度あります。しかし概して知人と会う機会が少なく、近ごろはみんなどうしているのかなあと、思うことが時々あります。では、みなさまのご多幸をお祈りして失礼させていただきます。

第三十九回 青野国明

公務員の道に進み、早や二年余り過ぎました。仕事にはなれてきましたが、職場の人間関係のいかに、難しいかを痛感しているこの頃です。だがフアイトと若さで頑張つて良識ある社会人として暮らして行く覚悟です。同窓生の皆さん便りを下さい。母校大経大の益々の発展を祈ります。現況報告まで

第三十九回 相山良雄

早いもので卒業して一年がすぎました。勤めのほうもマイペースでやっています。在学中からの下宿に未だにいます。なので、学生時代を懐かしむというより、その延長という感じです。在学中はクラブ活動は全然しませんでしたので、私の友人はクラスの仲間だけです。二、三の友人と今でも月に一度程度、会って歓談しています。以上が私の近況報告です。

とのないもので面喰らっています。在学中もつと幅広く勉強しておけばよかったと気になって悔んでいます。しかし幸いにも上司、友人にも恵まれて働いています。倉敷に帰ってからも時折、経大時代の大阪を思い出します。弟が現在三回生に在学中ですので学校をたずねることがあると思います。その時を楽しみにしています。

第四十回 猪須明夫

学窓を巣立って、はや一年、若きジャスコのホープ(?)として第一線の売場で、平均年齢三十三才のパートのおばさんに、かこまれて、がんばっています。ジャスコには、今年十五名の後輩諸君が入社され、またたくさんの諸先輩が活躍されていて、たいへん心強い限りですが残念ながら同窓としての交流の機会が限られあまり活発ではありません。この機会に交流の活発化を提案したいと思っております。最後に卒業生の活躍状況など大いに関心があるところですが、私見としてどうも「さすが」というようなニュースが入ってきません。経大健児ここにあり」という卒業生各位のご活躍を祈っています。

第四十回 石井宏一

卒業後早や、一年余りが過ぎ、おかげさまで、毎日元気で働いています。仕事の内容は社会教育という今まで触れたこ



今年には郵便料金の値上げが十月一月に行われるというので、原稿の募集を一月早めていた。ところがご承知のように値上げ案が流れてほっと一息。

△これはいつもの、将来の郵便料値上げを見越して、総会案内を雑誌上でやってはという意見もあって、急遽、発行を当初の計画通り繰り上げた。△総会案内のハガキも二十円となると二万同窓生に発送して四十万

円、激江の方も、郵送費はいかに定形とはいえ五十円になると百万円、激江の製作費よりも高くなる。何ともやりきれぬ感じである。△しかし、年一回の大学、同窓会と同窓生を結ぶ唯一のきずな、いかに高くついても、これだけは続けたいと思う。

△この激江の編集と並行して、いま追込みにかかっているのが名簿の編集、この方はなかなか容易ではない。四苦八苦というのが実状でも、名簿の申し込みは三千を突破、現在も僅かながら続いているそれにつけても、より確かな、よ

りよいものをつくりたいと一所懸命といったところである。△この名簿の編集のために狂いが出たのが、北から南から、二十回卒業までの原稿が印刷所に渡ったためこの回が抜けてしまった。△ために、この号は二十回以下。例年回数古いところからワンサと集ったため、新しいところからはと心配したが、何と前回と同じくらい原稿が集った。古い回の方方には心からお詫びを申し上げるとともに、原稿をお寄せいただいた方々には心からお礼を申し上げます。(松本記)

りよいものをつくりたいと一所懸命といったところである。△この名簿の編集のために狂いが出たのが、北から南から、二十回卒業までの原稿が印刷所に渡ったためこの回が抜けてしまった。△ために、この号は二十回以下。例年回数古いところからワンサと集ったため、新しいところからはと心配したが、何と前回と同じくらい原稿が集った。古い回の方方には心からお詫びを申し上げるとともに、原稿をお寄せいただいた方々には心からお礼を申し上げます。(松本記)

第11号 江 澁 昭和50年10月10日発行 編集者 山中良夫 発行所 大阪経済大学同窓会 大阪府東淀川区大隅通2丁目 電話 (328) 2431~3番 印刷所 共成社印刷株式会社 大阪市北区葉村町40番地 電話 大阪 (371) 0254番

国際化時代の中小企業の理論と情報

中小企業季報

経済の国際化時代にふさわしい今後の中小企業のあり方を示す論文 解説および書評 中小企業に関する文献目録 年間購読料 ¥1,500 (〒とも) 中小企業経営研究所

大阪経大論集

本学の学術総合雑誌 創刊 昭和25年 年6回刊行 年間購読料 ¥500 以上 大阪経大学会

本学専任教員の最近の出版物より

Table with 4 columns: Author, Title, Publisher, Year. Includes entries for 山国達夫 (日本経済史研究所), 山本晴義 (福村出版), 平実 (晃洋書房), 鈴木享 (福村出版).





大阪経済大学同窓会誌

NO.11